

令和2年度（2020年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和3年8月





令和2年度(2020年度)  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I・調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II・回収状況 >	
回収状況	5
< III・調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
5. 支援障害学生在籍学校数	27
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	30
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援(総表)	
イ 授業以外の支援(総表)	

ウ	授業支援（大学）	
エ	授業以外の支援（大学）	
オ	授業支援（短期大学）	
カ	授業以外の支援（短期大学）	
キ	授業支援（高等専門学校）	
ク	授業以外の支援（高等専門学校）	
(3)	主な支援	
ア	視覚障害	
イ	聴覚・言語障害	
ウ	肢体不自由	
エ	病弱・虚弱	
オ	発達障害	
カ	精神障害	
7.	障害学生支援に関する体制等	42
(1)	障害者差別解消法に関する対応要領等（障害学生数別・学校種別）	
(2)	専門委員会等の設置状況（障害学生数別・学校種別）	
(3)	紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況（障害学生数別・学校種別）	
(4)	1) 障害学生支援担当部署の設置状況（障害学生数別・学校種別）	
2)	障害学生支援担当者の配置状況（障害学生数別・学校種別）	
3)	障害学生支援担当者の職種（職種別・障害学生数別・学校種別）	
(5)	障害学生の相談受付窓口	
(6)	支援の申し出等に関する対応手順	
(7)	施設・設備の整備状況（学校種別・内容別）	
(8)	支援学生（障害学生を支援する学生）在籍学校数（支援学生数別・学校種別）	
8.	障害学生支援に関する活動や取組実施状況	52
(1)	学校種別・障害学生在籍者数別	
(2)	学校種別・内容別	
9.	障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	56
(1)	入学者選抜における配慮に関する体制	
(2)	入学者選抜において実施可能な配慮	
(3)	障害のある入学者数等（障害種別・学校種別）	
(4)	受験上の配慮を行なった受験者数（障害種別・学校種別）	
(5)	入学者選抜において実施した配慮の内容（障害種別）	
10.	障害学生の卒業後の進路	63
	進路状況（学校種別・障害種別）	
11.	発達障害学生支援状況（一部再掲）	68
(1)	発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）	
(2)	発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）	
(3)	発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）	
(4)	発達障害のある学生への支援（支援内容別）	
(5)	発達障害を理由とする受験上の配慮（学校種別）	
(6)	発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）	
<IV・参考資料>		
	調査の手引	75
	調査票（大学・大学院用）	91

< I ・ 調査方法等 >



## 1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：令和2年5月1日現在

## 2. 表記区分

### (1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専門職短期大学及び専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

### (2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

### (3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症/限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害)、ASD (自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書 無・配慮有)	S L D (限局性学習症/限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害)、ASD (自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害)

## 3. 注意事項

### (1) 本調査における用語の定義

①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生または健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）

②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（今年度中の支援予定を含む）障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

### ③障害種別の内訳区分

#### 【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能または著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度（視野障害や、明るいところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）

※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。



### 【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、または補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、または著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、または補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

### 【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこうまたは直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の 疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもで、医師の診断書がある者。

※1：「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾病」に該当する者  
他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）。

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

### 【重複】

以下のとおり、障害が重複している者

○ 2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害または精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

（別途調査：14,15 ページ、25,26 ページ参照）

### 【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

#### 【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

#### 【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者。または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者。

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

#### (2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

#### 【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回收状況 >



## 回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	94	(93)	94	(93)	100.0	(100.0)
	私立	621	(613)	621	(613)	100.0	(100.0)
	小計	801	(792)	801	(792)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	15	(17)	15	(17)	100.0	(100.0)
	私立	300	(308)	300	(308)	100.0	(100.0)
	小計	315	(325)	315	(325)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,173	(1,174)	1,173	(1,174)	100.0	(100.0)

### 【留意点】

①表中の（ ）内は、前年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。



< Ⅲ・調査結果及びその概要 >





# 1. 学校全体の学生数

学校からの回答における令和2年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	3,228,488 (3,214,814)	2,781,189 (2,766,783)	181,908 (183,809)	254,084 (253,102)	3,570 (3,821)	7,737 (7,299)
大学	3,047,227 (3,027,581)	2,623,428 (2,603,732)	164,450 (165,692)	254,084 (253,102)	3,570 (3,821)	1,695 (1,234)
国立	587,900 (589,857)	435,106	—	152,502	—	292
公立	156,366 (155,413)	139,606	—	16,608	—	152
私立	2,302,961 (2,282,311)	2,048,716	164,450	84,974	3,570	1,251
短期大学	124,340 (130,213)	104,064 (109,181)	17,458 (18,117)	—	—	2,818 (2,915)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	5,755 (5,726)	5,648	—	—	—	107
私立	118,585 (124,487)	98,416	17,458	—	—	2,711
高等専門学校	56,921 (57,020)	53,697 (53,870)	—	—	—	3,224 (3,150)
国立	51,164 (51,196)	48,167	—	—	—	2,997
公立	3,799 (3,778)	3,616	—	—	—	183
私立	1,958 (2,046)	1,914	—	—	—	44

( )内は前年度数値

## 2. 障害学生数

### (1) 障害学生数

<概要>

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は35,341人で、前年度(37,647人)より2,306人の減。
- 学校種別で見ると次のとおり。
  - ・「大学」に在籍している障害学生は31,689人で、前年度(33,683人)より1,994人の減。
  - ・「短期大学」は、1,541人で前年度(1,845人)より304人の減。
  - ・「高等専門学校」は2,111人で前年度(2,119人)より8人の減。
- 課程別で見ると、在籍者が多い順に「大学の学部(通学)」の28,002人で、前年度(29,668人)より1,666人の減。「高等専門学校の本科(通学)」の2,055人で、前年度(2,035人)より20人の増。「大学院(通学)」の1,850人で、前年度(1,979人)より129人の減。「大学の学部(通信)」の1,809人で、前年度(1,992人)より183人の減。「短期大学の学科(通学)」の1,509人で、前年度(1,803人)より294人の減。

表2 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		35,341 (37,647)	31,566 (33,506)	1,832 (2,014)	1,850 (1,979)	15 (26)	78 (122)
大学		31,689 (33,683)	28,002 (29,668)	1,809 (1,992)	1,850 (1,979)	15 (26)	13 (18)
	国立	6,438 (6,415)	5,207	—	1,227	—	4
	公立	2,187 (1,799)	2,038	—	149	—	0
	私立	23,064 (25,469)	20,757	1,809	474	15	9
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		1,541 (1,845)	1,509 (1,803)	23 (22)	—	—	9 (20)
	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	139 (127)	139	—	—	—	0
	私立	1,402 (1,718)	1,370	23	—	—	9
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		2,111 (2,119)	2,055 (2,035)	—	—	—	56 (84)
	国立	1,826 (1,909)	1,776	—	—	—	50
	公立	205 (165)	201	—	—	—	4
	私立	80 (45)	78	—	—	—	2

( )内は前年度数値

(2) 障害学生在籍率

<概要>

- 全学生(3,228,488人)に占める障害学生の在籍率は1.09%で、前年度(1.17%)より0.08ポイントの減。
- ・学校種別の設置者別に見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立高等専門学校」の5.40%で、前年度(4.37%)より1.03ポイントの増。「私立高等専門学校」の4.09%で、前年度(2.20%)より1.89ポイントの増。「国立高等専門学校」の3.57%で、前年度(3.73%)より0.16ポイントの減。
- ・学校種別の課程別を見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立高等専門学校の学部(通学)」の5.56%、「私立高等専門学校の専攻科」の4.55%。また、「公立大学(専攻科)」および「公立短期大学(専攻科)」には障害学生が在籍しない。

表3 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

	(%)	全体の在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		1.09 (1.17)	1.13 (1.21)	1.01 (1.10)	0.73 (0.78)	0.42 (0.68)	1.01 (1.67)
大学		1.04 (1.11)	1.07 (1.14)	1.10 (1.20)	0.73 (0.78)	0.42 (0.68)	0.77 (1.46)
国立		1.10 (1.09)	1.20	—	0.80	—	1.37
公立		1.40 (1.16)	1.46	—	0.90	—	0
私立		1.00 (1.12)	1.01	1.10	0.56	0.42	0.72
短期大学		1.24 (1.42)	1.45 (1.65)	0.13 (0.12)	—	—	0.32 (0.69)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		2.42 (2.22)	2.46	—	—	—	0
私立		1.18 (1.38)	1.39	0.13	—	—	0.33
高等専門学校		3.71 (3.72)	3.83 (3.78)	—	—	—	1.74 (2.67)
国立		3.57 (3.73)	3.69	—	—	—	1.67
公立		5.40 (4.37)	5.56	—	—	—	2.19
私立		4.09 (2.20)	4.08	—	—	—	4.55

( )内は前年度数値

(3)障害種別の障害学生数

<概要>

○障害種別で見る障害学生数は、多い順に「病弱・虚弱」の10,720人で、前年度(12,374人)より1,654人の減。「精神障害」の9,682人で、前年度(9,709人)より27人の減。「発達障害」の7,654人で、前年度(7,065人)より589人の増。

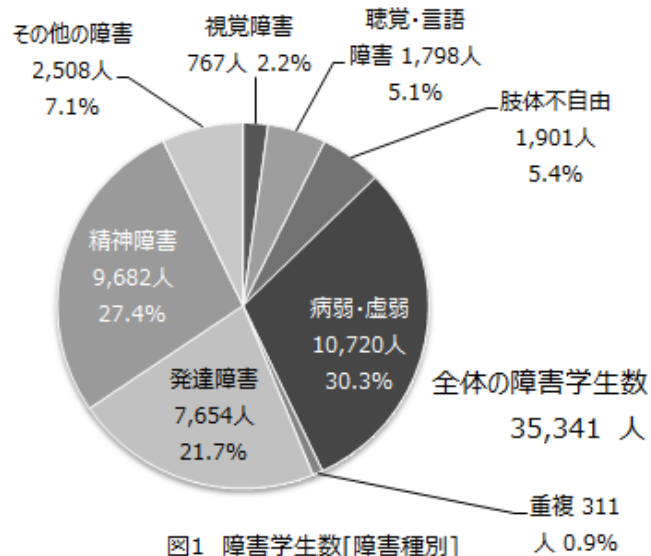


表4 障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	35,341 (37,647)	31,689 (33,683)	1,541 (1,845)	2,111 (2,119)
視覚障害	767 (887)	733 (832)	21 (22)	13 (33)
盲	133 (171)	130	1	2
弱視	634 (716)	603	20	11
聴覚・言語障害	1,798 (1,980)	1,684 (1,825)	53 (74)	61 (81)
聾	516 (512)	509	5	2
難聴	1,233 (1,403)	1,136	45	52
言語障害のみ	49 (65)	39	3	7
肢体不自由	1,901 (2,391)	1,815 (2,252)	45 (84)	41 (55)
上肢機能障害	296 (329)	276	12	8
下肢機能障害	711 (860)	671	23	17
上下肢機能障害	644 (789)	625	8	11
他の機能障害	250 (413)	243	2	5
病弱・虚弱	10,720 (12,374)	9,503 (10,849)	662 (854)	555 (671)
内部障害等	6,924 (7,381)	6,277	394	253
他の慢性疾患	3,796 (4,993)	3,226	268	302
重複	311 (505)	300 (480)	7 (15)	4 (10)
発達障害	7,654 (7,065)	6,466 (5,977)	249 (240)	939 (848)
SLD	222 (231)	194	10	18
ADHD	2,116 (1,883)	1,781	61	274
ASD	3,951 (3,781)	3,304	137	510
発達障害の重複	1,365 (1,170)	1,187	41	137
精神障害	9,682 (9,709)	9,090 (9,158)	363 (359)	229 (192)
統合失調症等	675 (842)	650	17	8
気分障害	2,699 (3,105)	2,560	71	68
神経症性障害等	3,554 (3,883)	3,350	147	57
摂食障害・睡眠障害等	773 (921)	722	27	24
他の精神障害	1,981 (958)	1,808	101	72
その他の障害	2,508 (2,736)	2,098 (2,310)	141 (197)	269 (229)

( )内は前年度数値

## (4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

&lt;概要&gt;

○大学に在籍している障害学生数(31,689人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」7,462人、「人文科学」6,126人、「工学」4,834人。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

	(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計		31,689	6,126	7,462	1,232	4,834	1,288	667	3,228	10	712	1,927	1,627	2,576
視覚障害		733	91	180	15	88	11	5	93	1	10	36	31	172
	盲	130	20	26	2	13	0	1	12	0	0	1	9	46
	弱視	603	71	154	13	75	11	4	81	1	10	35	22	126
聴覚・言語障害		1,684	231	416	62	306	55	30	157	0	30	163	113	121
	聾	509	48	137	9	147	4	1	11	0	5	50	58	39
	難聴	1,136	175	270	51	149	48	29	145	0	25	108	55	81
	言語障害のみ	39	8	9	2	10	3	0	1	0	0	5	0	1
肢体不自由		1,815	401	609	50	167	25	26	136	0	22	114	46	219
	上肢機能障害	276	50	92	10	35	8	4	14	0	6	23	11	23
	下肢機能障害	671	131	189	17	64	7	11	71	0	9	54	19	99
	上下肢機能障害	625	157	242	19	49	7	9	34	0	3	24	13	68
	他の機能障害	243	63	86	4	19	3	2	17	0	4	13	3	29
病弱・虚弱		9,503	1,483	2,218	248	1,252	439	239	1,553	0	280	712	404	675
	内部障害等	6,277	1,014	1,416	167	876	249	183	953	0	198	438	254	529
	他の慢性疾患	3,226	469	802	81	376	190	56	600	0	82	274	150	146
重複		300	51	77	5	52	2	3	44	0	3	23	9	31
発達障害		6,466	1,372	1,396	424	1,398	328	77	236	7	77	249	406	496
	SLD	194	33	57	4	25	11	0	8	0	4	10	20	22
	ADHD	1,781	387	382	97	350	79	33	75	2	32	84	126	134
	ASD	3,304	691	717	228	760	167	30	120	4	34	115	201	237
	発達障害の重複	1,187	261	240	95	263	71	14	33	1	7	40	59	103
精神障害		9,090	2,165	2,075	386	1,214	361	231	697	1	224	483	504	749
	統合失調症等	650	145	177	22	92	19	11	29	0	10	31	42	72
	気分障害	2,560	618	554	112	392	100	77	164	0	55	149	160	179
	神経症性障害等	3,350	798	787	158	396	139	99	298	1	72	180	144	278
	摂食障害・睡眠障害等	722	152	123	25	99	39	26	89	0	38	43	34	54
	他の精神障害	1,808	452	434	69	235	64	18	117	0	49	80	124	166
その他の障害		2,098	332	491	42	357	67	56	312	1	66	147	114	113

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している障害学生数(1,541人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」441人、「家政」293人、「社会」215人。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

	(人)	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
計		1,541	180	215	24	40	22	96	293	441	92	138
視覚障害		21	1	3	0	0	0	1	4	7	2	3
	盲	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	20	1	2	0	0	0	1	4	7	2	3
聴覚・言語障害		53	9	7	1	0	0	3	12	15	3	3
	聾	5	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1
	難聴	45	9	5	1	0	0	3	9	14	3	1
	言語障害のみ	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
肢体不自由		45	5	12	1	0	0	3	9	9	0	6
	上肢機能障害	12	1	2	0	0	0	2	1	4	0	2
	下肢機能障害	23	2	7	0	0	0	1	7	2	0	4
	上下肢機能障害	8	2	2	0	0	0	0	1	3	0	0
	他の機能障害	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱		662	51	83	13	7	11	56	141	224	12	64
	内部障害等	394	30	54	7	5	9	40	72	130	11	36
	他の慢性疾患	268	21	29	6	2	2	16	69	94	1	28
重複		7	2	1	0	0	0	1	0	1	2	0
発達障害		249	31	33	3	21	2	10	35	49	34	31
	SLD	10	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1
	ADHD	61	5	6	0	7	2	2	8	15	8	8
	ASD	137	21	22	2	8	0	7	18	20	19	20
	発達障害の重複	41	5	5	1	6	0	0	6	10	6	2
精神障害		363	65	55	5	8	7	17	64	92	31	19
	統合失調症等	17	2	4	1	0	1	1	3	3	0	2
	気分障害	71	12	13	1	0	1	10	9	17	5	3
	神経症性障害等	147	28	25	2	5	4	4	23	36	14	6
	摂食障害・睡眠障害等	27	2	2	0	0	1	1	7	9	4	1
	他の精神障害	101	21	11	1	3	0	1	22	27	8	7
その他の障害		141	16	21	1	4	2	5	28	44	8	12

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している障害学生(2,111人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(2,069人)が「工業」に在籍している。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社会	工業	商船	芸術
計		2,111	18	2,069	11	13
視覚障害		13	0	13	0	0
	盲	2	0	2	0	0
	弱視	11	0	11	0	0
聴覚・言語障害		61	0	61	0	0
	聾	2	0	2	0	0
	難聴	52	0	52	0	0
	言語障害のみ	7	0	7	0	0
肢体不自由		41	0	41	0	0
	上肢機能障害	8	0	8	0	0
	下肢機能障害	17	0	17	0	0
	上下肢機能障害	11	0	11	0	0
	他の機能障害	5	0	5	0	0
病弱・虚弱		555	10	540	0	5
	内部障害等	253	4	244	0	5
	他の慢性疾患	302	6	296	0	0
重複		4	0	4	0	0
発達障害		939	2	923	11	3
	SLD	18	1	17	0	0
	ADHD	274	0	268	6	0
	ASD	510	1	505	3	1
	発達障害の重複	137	0	133	2	2
精神障害		229	2	223	0	4
	統合失調症等	8	0	8	0	0
	気分障害	68	0	66	0	2
	神経症性障害等	57	1	54	0	2
	摂食障害・睡眠障害等	24	0	24	0	0
	他の精神障害	72	1	71	0	0
その他の障害		269	4	264	0	1

(5)発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
  - ・多い順に、「精神障害」との重複が305人、「病弱・虚弱」との重複が121人となっている。
  - ・学校種別で見ると、「大学」と「短期大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
  - ・多い順に、「発達障害」との重複が687人、「病弱・虚弱」との重複が137人となっている。
  - ・学校種別で見ると、すべての学校種において、「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学					発達障害の重複	短期大学				発達障害の重複	高等専門学校				発達障害の重複
		S	A	D	A	D		S	A	A	D		S	A	A	D	
計	536	483	13	142	249	79	23	1	8	9	5	30	1	6	13	10	
視覚障害	12	10	2	0	6	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
盲	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	11	9	1	0	6	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	28	25	0	10	12	3	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	
聾	14	14	0	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難聴	13	11	0	3	7	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
肢体不自由	22	21	3	3	7	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
上肢機能障害	4	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
下肢機能障害	8	8	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上下肢機能障害	7	7	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	3	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病弱・虚弱	121	105	2	26	58	19	5	0	0	4	1	11	0	1	8	2	
内部障害等	69	61	0	18	32	11	3	0	0	3	0	5	0	0	4	1	
他の慢性疾患	52	44	2	8	26	8	2	0	0	1	1	6	0	1	4	1	
重複	22	22	1	7	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神障害	305	281	5	86	151	39	14	1	6	3	4	10	1	3	2	4	
統合失調症等	23	21	0	1	17	3	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	
気分障害	100	95	2	41	39	13	4	0	1	2	1	1	0	0	0	1	
神経症性障害等	96	86	1	22	55	8	5	0	5	0	0	5	1	2	1	1	
摂食障害・睡眠障害等	20	19	0	8	8	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
他の精神障害	66	60	2	14	32	12	4	1	0	1	2	2	0	1	0	1	
その他の障害	26	19	0	10	7	2	1	0	1	0	0	6	0	2	2	2	



表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学						短期大学					高等専門学校						
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	962	881	23	251	277	69	261	46	1	8	15	4	18	35	2	7	11	8	7
視覚障害	7	5	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	7	5	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
聴覚・言語障害	26	25	2	5	7	2	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	12	12	0	2	4	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	14	13	2	3	3	0	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	39	38	2	4	6	2	24	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	4	4	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	12	11	1	2	3	1	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	17	17	0	1	2	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	6	6	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	137	122	9	28	32	11	42	12	0	0	4	1	7	3	0	1	0	2	0
内部障害等	85	76	6	18	20	6	26	7	0	0	3	1	3	2	0	1	0	1	0
他の慢性疾患	52	46	3	10	12	5	16	5	0	0	1	0	4	1	0	0	0	1	0
重複	28	27	2	6	13	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	687	630	8	200	206	44	172	29	1	6	10	3	9	28	2	6	8	6	6
SLD	10	10	0	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	213	197	1	86	52	17	41	9	0	2	3	0	4	7	0	1	0	3	3
ASD	339	308	6	64	128	15	95	13	0	3	4	2	4	18	2	5	6	3	2
発達障害の重複	125	115	1	47	24	9	34	7	1	1	3	1	1	3	0	0	2	0	1
その他の障害	38	34	0	7	12	6	9	1	0	0	1	0	0	3	0	0	3	0	0

### 3. 障害学生在籍学校数

#### (1)障害種別・学校種別

<概要>

○障害学生が在籍している学校は935校。

○障害種別の在籍校数は多い順に「精神障害」744校、「発達障害」722校、「病弱・虚弱」707校。

表10 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	935	676	202	57
視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	271	244	18	9
盲	60	57	1	2
弱視	249	224	17	8
聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	496	420	43	33
聾	106	100	4	2
難聴	461	393	37	31
言語障害のみ	43	35	3	5
肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	478	421	33	24
上肢機能障害	172	156	10	6
下肢機能障害	321	293	16	12
上下肢機能障害	268	250	8	10
他の機能障害	138	131	2	5
病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	707	542	121	44
内部障害等	665	515	106	44
他の慢性疾患	518	401	80	37
重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	127	118	6	3
発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	722	555	113	54
SLD	151	130	8	13
ADHD	509	418	41	50
ASD	599	472	77	50
発達障害の重複	362	293	31	38
精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	744	571	127	46
統合失調症等	296	274	15	7
気分障害	460	393	42	25
神経症性障害等	572	464	82	26
摂食障害・睡眠障害等	302	265	23	14
他の精神障害	512	418	64	30
その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	475	381	60	34
全体の学校数	1,173	801	315	57

(2)学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

- 全学校(1,173校)に占める障害学生在籍校の割合は79.7%。
- 障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」433校、「0人」238校、「2～5人」160校。
- 障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1～499人」219校、「1,000～1,999人」190校、「2,000～4,999人」185校。

表11 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生								全体の 学校数
	在籍 (校)	在籍 学校数	在籍率(%)	21人以上	11～20人	6～10人	2～5人	1人	
計	935	79.7	433	127	132	160	83	238	1,173
大学	676	84.4	377	92	78	86	43	125	801
短期大学	202	64.1	13	30	49	71	39	113	315
高等専門学校	57	100.0	43	5	5	3	1	0	57

表12 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生								全体の 学校数
	在籍 (校)	在籍 学校数	在籍率(%)	21人以上	11～20人	6～10人	2～5人	1人	
10,000人以上	67	100.0	65	1	1	0	0	0	67
大学	67	100.0	65	1	1	0	0	0	67
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	106	98.1	90	9	4	3	0	2	108
大学	106	98.1	90	9	4	3	0	2	108
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	185	95.4	125	26	14	18	2	9	194
大学	182	95.8	125	25	13	18	1	8	190
短期大学	3	75.0	0	1	1	0	1	1	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	190	88.4	88	34	32	23	13	25	215
大学	153	86.0	63	29	28	20	13	25	178
短期大学	7	100.0	2	1	2	2	0	0	7
高等専門学校	30	100.0	23	4	2	1	0	0	30
500～999人	168	77.8	55	27	27	40	19	48	216
大学	96	72.2	27	17	18	24	10	37	133
短期大学	46	80.7	8	9	6	14	9	11	57
高等専門学校	26	100.0	20	1	3	2	0	0	26
1～499人	219	58.7	10	30	54	76	49	154	373
大学	72	57.6	7	11	14	21	19	53	125
短期大学	146	59.1	3	19	40	55	29	101	247
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	0	1	0	1

※障害学生在籍率:障害学生在籍校数÷全体の学校数×100(%)

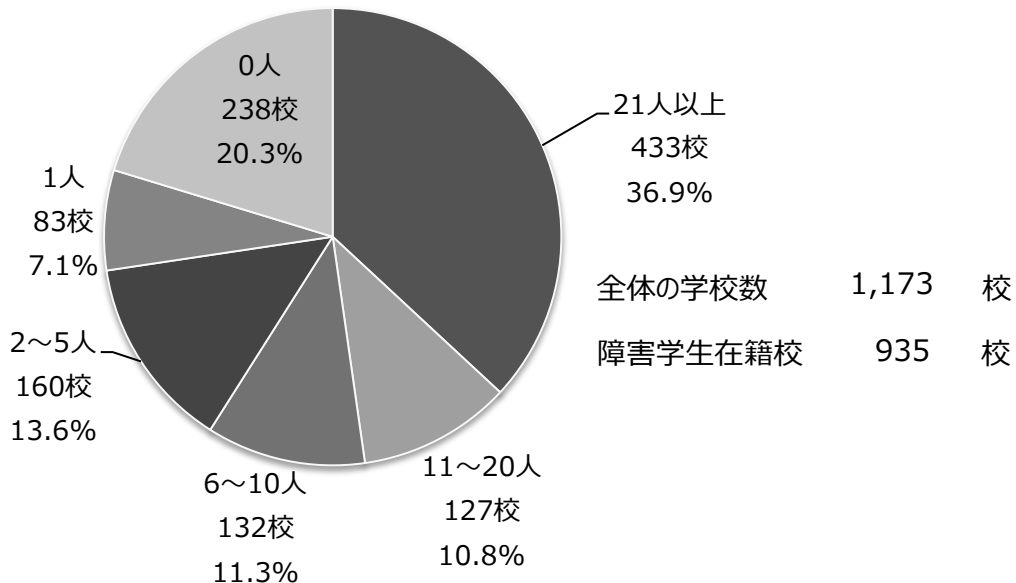


図2 障害学生在籍学校数 [障害学生在籍者数別]

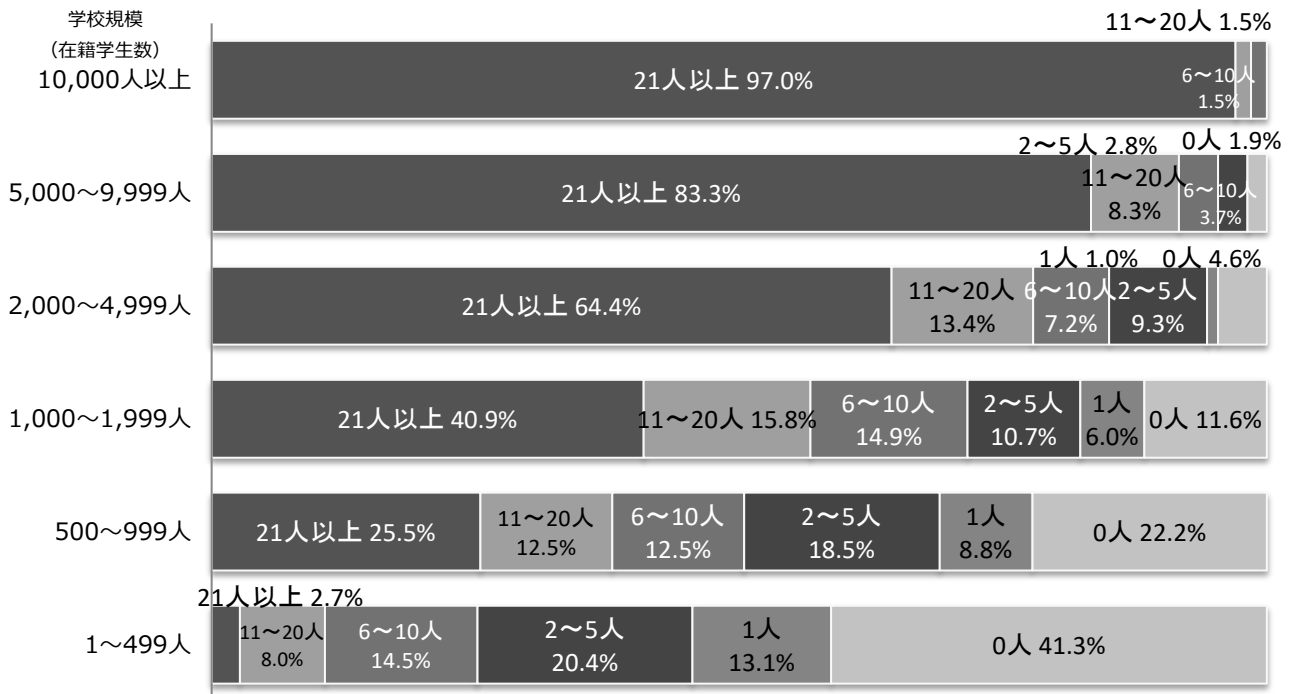


図3 障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・障害学生在籍者数別]

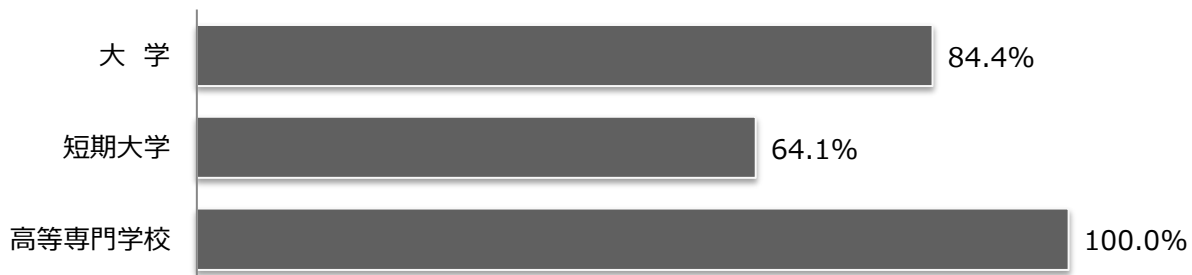


図4 障害学生在籍率 [学校種別]

## 4. 支援障害学生数

### (1) 支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(35,341人)のうち支援障害学生(※)の総数は18,777人で、前年度(18,702人)より75人の増。
- 学校種別で見ると多い順に、「大学」の17,000人で、前年度(16,877人)より123人の増。「高等専門学校」の961人で、前年度(1,016人)より55人の減。「短期大学」の816人で、前年度(809人)より7人の増。
- 学校種別・設置者別で見ると多い順に、「私立大学」の12,112人で、前年度(12,062人)より50人の増。「国立大学」の4,038人で、前年度(4,073人)より35人の減。「公立大学」の850人で、前年度(742人)より108人の増。
- 課程別で見ると多い順に、「大学の学部(通学)」の14,918人で、前年度(14,668人)より250人の増。「大学の学部(通信)」の1,057人で、前年度(1,141人)より84人の減。「大学院(通学)」の1,008人で、前年度(1,050人)より42人の減。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		18,777 (18,702)	16,648 (16,429)	1,072 (1,156)	1,008 (1,050)	12 (10)	37 (57)
大学		17,000 (16,877)	14,918 (14,668)	1,057 (1,141)	1,008 (1,050)	12 (10)	5 (8)
国立		4,038 (4,073)	3,321	—	715	—	2
公立		850 (742)	806	—	44	—	0
私立		12,112 (12,062)	10,791	1,057	249	12	3
	(人)	計	学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		816 (809)	797 (783)	15 (15)	—	—	4 (11)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		117 (26)	117	—	—	—	0
私立		699 (783)	680	15	—	—	4
	(人)	計	本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		961 (1,016)	933 (978)	—	—	—	28 (38)
国立		758 (913)	734	—	—	—	24
公立		148 (77)	144	—	—	—	4
私立		55 (26)	55	—	—	—	0

( )内は前年度数値

※支援障害学生:学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(令和2年度中の予定を含む)障害学生。

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

<概要>

○支援障害学生在籍率で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生在籍率は0.58%で、前年度(0.58%)と同率。
- ・学校種別で見ると多い順に、「高等専門学校」の1.69%で、前年度(1.78%)より0.09ポイントの減。「短期大学」の0.66%で、前年度(0.62%)より0.04ポイントの増。「大学」の0.56%で、前年度(0.56%)と同率。

○障害学生支援率で見ると次のとおり。

- ・障害学生支援率は53.1%で、前年度(49.7%)より3.4ポイントの増。
- ・学校種別・設置者別で見ると障害学生支援率で50%を超えているのは、「公立短期大学」で84.2%、「公立高等専門学校」で72.2%、「私立高等専門学校」で68.8%、「国立大学」で62.7%、「私立大学」で52.5%となっている。

表14 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	在籍率 (%)	支援率 (%)	学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
計	0.58 (0.58)	53.1 (49.7)	0.60 (0.59)	52.7 (49.0)	0.59 (0.63)	58.5 (57.4)	0.40 (0.41)	54.5 (53.1)	0.34 (0.26)	80.0 (38.5)	0.48 (0.78)	47.4 (46.7)
大学	0.56 (0.56)	53.6 (50.1)	0.57 (0.56)	53.3 (49.4)	0.64 (0.69)	58.4 (57.3)	0.40 (0.41)	54.5 (53.1)	0.34 (0.26)	80.0 (38.5)	0.29 (0.65)	38.5 (44.4)
国立	0.69 (0.69)	62.7 (63.5)	0.76	63.8	—	—	0.47	58.3	—	—	0.68	50.0
公立	0.54 (0.48)	38.9 (41.2)	0.58	39.5	—	—	0.26	29.5	—	—	—	—
私立	0.53 (0.53)	52.5 (47.4)	0.53	52.0	0.64	58.4	0.29	52.5	0.34	80.0	0.24	33.3
	在籍率	支援率	学科(通学)		学科(通信)		—	—	専攻科			
短期大学	0.66 (0.62)	53.0 (43.8)	0.77 (0.72)	52.8 (43.4)	0.09 (0.08)	65.2 (68.2)	—	—	—	—	0.14 (0.38)	44.4 (55.0)
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立	2.03 (0.45)	84.2 (20.5)	2.07	84.2	—	—	—	—	—	—	—	—
私立	0.59 (0.63)	49.9 (45.6)	0.69	49.6	0.09	65.2	—	—	—	—	0.15	44.4
	在籍率	支援率	本科(通学)		—	—	—	—	専攻科			
高等専門学校	1.69 (1.78)	45.5 (47.9)	1.74 (1.82)	45.4 (48.1)	—	—	—	—	—	—	0.87 (1.21)	50.0 (45.2)
国立	1.48 (1.78)	41.5 (47.8)	1.52	41.3	—	—	—	—	—	—	0.80	48.0
公立	3.90 (2.04)	72.2 (46.7)	3.98	71.6	—	—	—	—	—	—	2.19	100.0
私立	2.81 (1.27)	68.8 (57.8)	2.87	70.5	—	—	—	—	—	—	0.00	0.0

( )内は前年度数値

※支援障害学生在籍率: 支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

※障害学生支援率: 支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3)障害種別の支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(35,341人)のうち支援障害学生の総数は、18,777人で、前年度(18,702人)より75人の増。
- 障害種別で見ると多い順に、「精神障害」の5,823人で、前年度(5,771人)より52人の増。「発達障害」5,331人で、前年度(4,990人)より341人の増。「病弱・虚弱」3,410人で、前年度(3,171人)より239人の増。

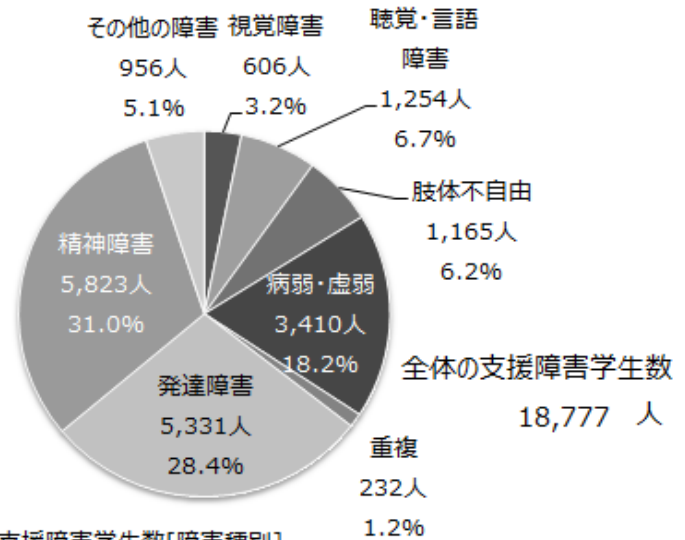


図5 支援障害学生数[障害種別]

表15 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	18,777 (18,702)	17,000 (16,877)	816 (809)	961 (1,016)
視覚障害	606 (645)	582 (617)	18 (15)	6 (13)
盲	127 (166)	125	1	1
弱視	479 (479)	457	17	5
聴覚・言語障害	1,254 (1,264)	1,179 (1,191)	41 (41)	34 (32)
聾	487 (463)	481	5	1
難聴	741 (778)	677	34	30
言語障害のみ	26 (23)	21	2	3
肢体不自由	1,165 (1,493)	1,117 (1,408)	26 (53)	22 (32)
上肢機能障害	135 (126)	126	7	2
下肢機能障害	413 (516)	388	12	13
上下肢機能障害	460 (590)	448	6	6
他の機能障害	157 (261)	155	1	1
病弱・虚弱	3,410 (3,171)	2,885 (2,585)	244 (258)	281 (328)
内部障害等	2,211 (2,137)	1,953	139	119
他の慢性疾患	1,199 (1,034)	932	105	162
重複	232 (375)	225 (361)	5 (9)	2 (5)
発達障害	5,331 (4,990)	4,769 (4,402)	179 (169)	383 (419)
SLD	146 (168)	130	4	12
ADHD	1,385 (1,250)	1,245	41	99
ASD	2,742 (2,643)	2,440	104	198
発達障害の重複	1,058 (929)	954	30	74
精神障害	5,823 (5,771)	5,454 (5,448)	231 (211)	138 (112)
統合失調症等	420 (529)	403	13	4
気分障害	1,600 (1,792)	1,494	48	58
神経症性障害等	2,168 (2,398)	2,048	92	28
摂食障害・睡眠障害等	402 (445)	381	10	11
他の精神障害	1,233 (607)	1,128	68	37
その他の障害	956 (993)	789 (865)	72 (53)	95 (75)

( )内は前年度数値

## (4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

&lt;概要&gt;

○大学に在籍している支援障害学生(17,000人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」4,130人、「人文科学」3,572人、「工学」2,530人。

表16 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	17,000	3,572	4,130	805	2,530	679	237	1,250	9	340	969	873	1,606
視覚障害	582	74	132	10	68	7	4	76	1	7	23	22	158
盲	125	19	25	2	13	0	1	11	0	0	1	9	44
弱視	457	55	107	8	55	7	3	65	1	7	22	13	114
聴覚・言語障害	1,179	162	284	40	230	43	19	78	0	16	128	91	88
聾	481	44	128	9	141	4	1	8	0	5	46	57	38
難聴	677	114	153	29	85	37	18	70	0	11	77	34	49
言語障害のみ	21	4	3	2	4	2	0	0	0	0	5	0	1
肢体不自由	1,117	241	388	28	95	14	14	80	0	12	54	28	163
上肢機能障害	126	18	44	4	19	4	1	7	0	3	7	5	14
下肢機能障害	388	64	124	9	31	3	5	42	0	5	24	11	70
上下肢機能障害	448	118	168	14	34	5	6	23	0	2	14	10	54
他の機能障害	155	41	52	1	11	2	2	8	0	2	9	2	25
病弱・虚弱	2,885	419	741	126	301	128	52	427	0	66	200	136	289
内部障害等	1,953	290	472	77	219	72	36	277	0	45	121	90	254
他の慢性疾患	932	129	269	49	82	56	16	150	0	21	79	46	35
重複	225	37	55	4	44	1	1	34	0	2	17	7	23
発達障害	4,769	1,065	1,026	342	1,015	254	39	160	6	55	177	259	371
SLD	130	19	38	4	16	6	0	4	0	3	8	15	17
ADHD	1,245	288	254	76	249	53	14	45	2	27	58	86	93
ASD	2,440	556	528	179	543	131	20	85	4	20	80	117	177
発達障害の重複	954	202	206	83	207	64	5	26	0	5	31	41	84
精神障害	5,454	1,422	1,302	235	667	207	85	321	1	155	315	280	464
統合失調症等	403	101	111	13	50	6	6	15	0	10	14	25	52
気分障害	1,494	394	330	64	215	60	31	72	0	37	101	92	98
神経症性障害等	2,048	536	543	96	201	85	33	138	1	48	122	76	169
摂食障害・睡眠障害等	381	92	66	15	42	22	8	31	0	22	28	17	38
他の精神障害	1,128	299	252	47	159	34	7	65	0	38	50	70	107
その他の障害	789	152	202	20	110	25	23	74	1	27	55	50	50



(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している支援障害学生(816人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」212人、「社会」151人、「家政」138人。

表17 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
計	816	107	151	10	31	9	37	138	212	59	62
視覚障害	18	1	3	0	0	0	1	3	6	2	2
盲	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	17	1	2	0	0	0	1	3	6	2	2
聴覚・言語障害	41	6	7	1	0	0	2	10	11	3	1
聾	5	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1
難聴	34	6	5	1	0	0	2	7	10	3	0
言語障害のみ	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
肢体不自由	26	2	11	0	0	0	3	4	4	0	2
上肢機能障害	7	1	2	0	0	0	2	1	1	0	0
下肢機能障害	12	0	6	0	0	0	1	2	1	0	2
上下肢機能障害	6	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0
他の機能障害	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	244	18	43	3	5	4	16	50	82	3	20
内部障害等	139	10	29	0	3	4	12	21	46	2	12
他の慢性疾患	105	8	14	3	2	0	4	29	36	1	8
重複	5	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0
発達障害	179	24	22	2	19	2	7	28	29	28	18
SLD	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
ADHD	41	3	4	0	6	2	2	6	8	5	5
ASD	104	18	16	2	7	0	5	15	13	17	11
発達障害の重複	30	3	2	0	6	0	0	6	7	5	1
精神障害	231	47	46	4	4	3	5	31	59	19	13
統合失調症等	13	1	4	1	0	0	1	2	2	0	2
気分障害	48	9	12	1	0	0	3	5	12	4	2
神経症性障害等	92	18	22	1	3	3	1	11	24	7	2
摂食障害・睡眠障害等	10	0	1	0	0	0	0	2	4	2	1
他の精神障害	68	19	7	1	1	0	0	11	17	6	6
その他の障害	72	7	18	0	3	0	3	12	21	2	6

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している支援障害学生(961人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(928人)が「工業」に在籍している。

表18 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		961	18	928	4	11
視覚障害		6	0	6	0	0
盲		1	0	1	0	0
弱視		5	0	5	0	0
聴覚・言語障害		34	0	34	0	0
聾		1	0	1	0	0
難聴		30	0	30	0	0
言語障害のみ		3	0	3	0	0
肢体不自由		22	0	22	0	0
上肢機能障害		2	0	2	0	0
下肢機能障害		13	0	13	0	0
上下肢機能障害		6	0	6	0	0
他の機能障害		1	0	1	0	0
病弱・虚弱		281	10	267	0	4
内部障害等		119	4	111	0	4
他の慢性疾患		162	6	156	0	0
重複		2	0	2	0	0
発達障害		383	2	375	4	2
SLD		12	1	11	0	0
ADHD		99	0	96	3	0
ASD		198	1	197	0	0
発達障害の重複		74	0	71	1	2
精神障害		138	2	132	0	4
統合失調症等		4	0	4	0	0
気分障害		58	0	56	0	2
神経症性障害等		28	1	25	0	2
摂食障害・睡眠障害等		11	0	11	0	0
他の精神障害		37	1	36	0	0
その他の障害		95	4	90	0	1

(5)発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」240人、「病弱・虚弱」91人となっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」568人、「病弱・虚弱」87人となっている。

表19 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

	大学		発達障害の重複				短期大学			発達障害の重複		高等専門学校			発達障害の重複	
	(人)	計	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複		
計	419	378	11	112	195	60	18	1	6	6	5	23	0	4	13	6
視覚障害	11	9	1	0	6	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	9	1	0	6	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	26	23	0	10	11	2	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1
聾	14	14	0	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	11	9	0	3	6	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
肢体不自由	18	18	3	3	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	7	7	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	6	6	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	3	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	91	77	1	18	45	13	3	0	0	2	1	11	0	1	8	2
内部障害等	52	46	0	12	27	7	1	0	0	1	0	5	0	0	4	1
他の慢性疾患	39	31	1	6	18	6	2	0	0	1	1	6	0	1	4	1
重複	16	16	1	6	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	240	222	5	68	120	29	11	1	4	2	4	7	0	2	2	3
統合失調症等	19	17	0	0	15	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0
気分障害	80	76	2	30	34	10	3	0	1	1	1	1	0	0	0	1
神経症性障害等	75	69	1	19	43	6	3	0	3	0	0	3	0	1	1	1
摂食障害・睡眠障害等	18	17	0	8	6	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
他の精神障害	48	43	2	11	22	8	4	1	0	1	2	1	0	1	0	0
その他の障害	17	13	0	7	4	2	1	0	1	0	0	3	0	1	2	0

表20 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学						短期大学					高等専門学校						
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	765	707	19	192	224	58	214	31	1	6	7	3	14	27	1	5	9	7	5
視覚障害	5	4	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	5	4	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	22	21	2	3	6	2	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	12	12	0	2	4	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	10	9	2	1	2	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	32	32	2	4	5	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	4	4	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	9	9	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	15	15	0	1	2	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	4	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	87	76	6	18	19	9	24	8	0	0	1	1	6	3	0	1	0	2	0
内部障害等	55	50	5	14	11	5	15	3	0	0	0	1	2	2	0	1	0	1	0
他の慢性疾患	32	26	1	4	8	4	9	5	0	0	1	0	4	1	0	0	0	1	0
重複	23	22	2	5	10	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	568	527	7	157	174	38	151	20	1	4	6	2	7	21	1	4	6	5	5
SLD	9	9	0	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	170	160	1	68	43	13	35	4	0	1	0	0	3	6	0	0	0	3	3
ASD	281	258	5	50	106	13	84	10	0	2	4	1	3	13	1	4	5	2	1
発達障害の重複	108	100	1	36	23	9	31	6	1	1	2	1	1	2	0	0	1	0	1
その他の障害	28	25	0	4	9	5	7	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0

## 5. 支援障害学生在籍学校数

### (1)障害種別・学校種別

<概要>

○支援障害学生が在籍している学校は822校。

○障害種別の支援障害学生の在籍校は、多い順に「発達障害」618校、「精神障害」606校、「病弱・虚弱」526校。

表21 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	822	610	162	50
支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	208	187	16	5
盲	55	53	1	1
弱視	185	166	15	4
支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	374	323	31	20
聾	98	93	4	1
難聴	337	292	26	19
言語障害のみ	23	19	2	2
支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	371	337	19	15
上肢機能障害	93	85	6	2
下肢機能障害	222	202	9	11
上下肢機能障害	206	195	6	5
他の機能障害	87	85	1	1
支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	526	414	79	33
内部障害等	468	377	62	29
他の慢性疾患	319	255	42	22
支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	94	89	4	1
支援発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	618	484	87	47
SLD	108	96	4	8
ADHD	399	338	29	32
ASD	518	419	58	41
発達障害の重複	298	250	23	25
支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	606	486	87	33
統合失調症等	219	205	11	3
気分障害	373	323	31	19
神経症性障害等	449	381	51	17
摂食障害・睡眠障害等	199	182	9	8
他の精神障害	398	331	48	19
支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	320	270	31	19
全体の学校数	1,173	801	315	57

## (2)学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

&lt;概要&gt;

○全学校(1,173校)に占める支援障害学生在籍校(822校)の割合は70.1%。

○支援障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「0人」351校、「21人以上」254校、「2～5人」187校。

表22 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
計	822	70.1	254	152	119	187	110	351	1,173
大学	610	76.2	237	120	84	113	56	191	801
短期大学	162	51.4	3	17	25	64	53	153	315
高等専門学校	50	87.7	14	15	10	10	1	7	57

表23 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	67	100.0	59	4	3	1	0	0	67
大学	67	100.0	59	4	3	1	0	0	67
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	102	94.4	69	20	8	4	1	6	108
大学	102	94.4	69	20	8	4	1	6	108
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	171	88.1	69	46	23	29	4	23	194
大学	170	89.5	69	46	23	29	3	20	190
短期大学	1	25.0	0	0	0	0	1	3	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	168	78.1	37	47	32	34	18	47	215
大学	134	75.3	27	34	27	30	16	44	178
短期大学	7	100.0	1	2	0	2	2	0	7
高等専門学校	27	90.0	9	11	5	2	0	3	30
500～999人	140	64.8	15	25	27	49	24	76	216
大学	79	59.4	9	11	16	28	15	54	133
短期大学	39	68.4	1	10	6	13	9	18	57
高等専門学校	22	84.6	5	4	5	8	0	4	26
1～499人	174	46.6	5	10	26	70	63	199	373
大学	58	46.4	4	5	7	21	21	67	125
短期大学	115	46.6	1	5	19	49	41	132	247
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	0	1	0	1

※支援障害学生在籍率:支援障害学生在籍校数÷全体の学校数×100(%)

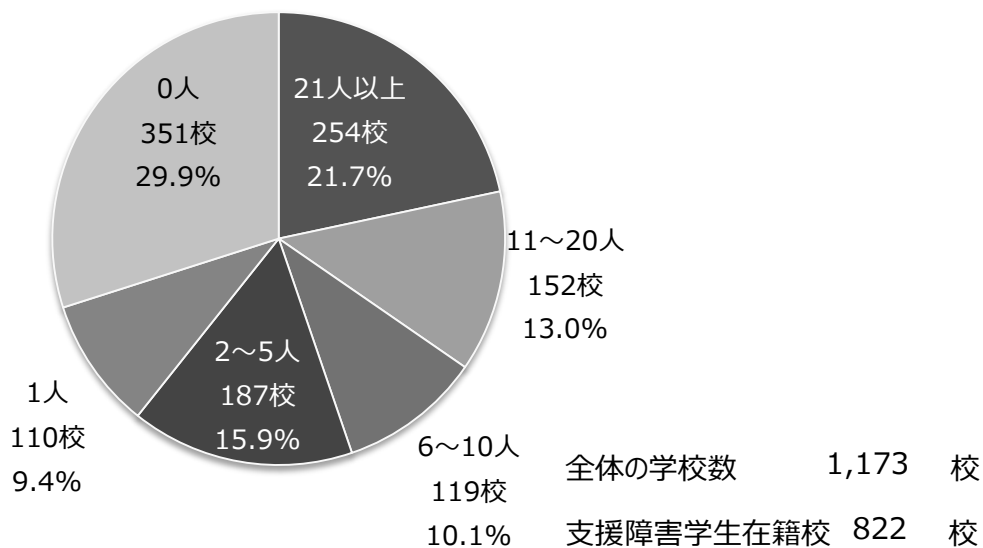


図6 支援障害学生在籍学校数 [支援障害学生在籍者数別]

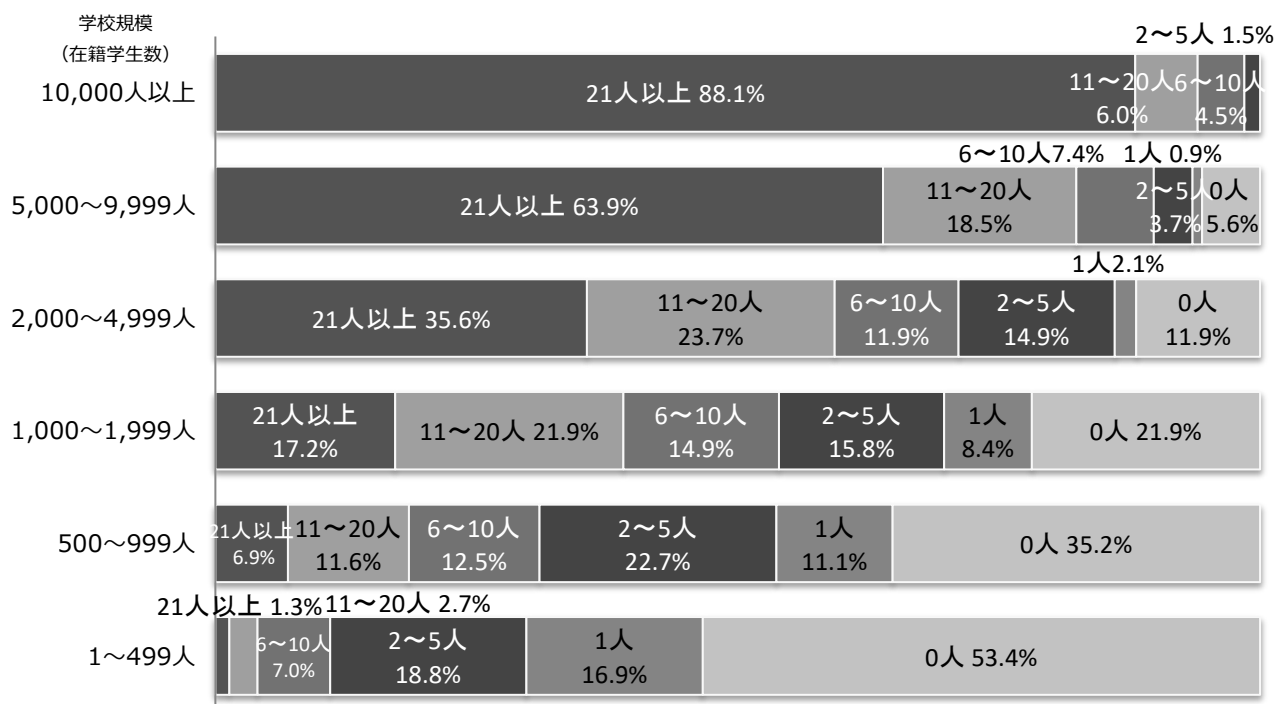


図7 支援障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別]

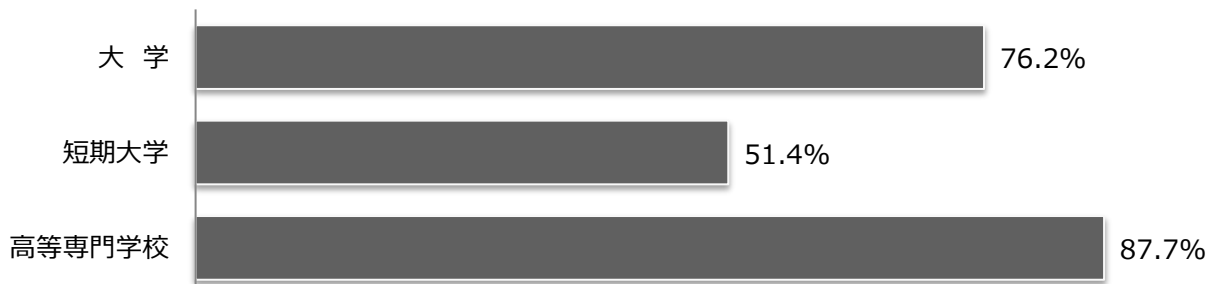


図8 支援障害学生在籍率 [学校種別]

## 6. 支援の実施状況

### (1)障害種別・学校種別

<概要>

- 障害学生への授業に関する支援を実施している学校は773校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」542校、「精神障害」523校、「病弱・虚弱」451校。
- 障害学生への授業以外の支援を実施している学校は695校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」526校、「精神障害」487校、「病弱・虚弱」381校。

表24 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		773	577	147	49
視覚障害		194	173	16	5
聴覚・言語障害		356	307	30	19
肢体不自由		336	306	17	13
病弱・虚弱		451	366	61	24
重複		86	82	3	1
発達障害		542	428	71	43
精神障害		523	428	76	19
その他の障害		289	247	27	15

表25 授業以外の支援実施状況[障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		695	531	115	49
視覚障害		99	92	6	1
聴覚・言語障害		180	158	15	7
肢体不自由		260	243	9	8
病弱・虚弱		381	308	44	29
重複		70	67	2	1
発達障害		526	415	64	47
精神障害		487	396	60	31
その他の障害		179	153	12	14



## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援(総表)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」544校、「17 教室内座席配慮」513校、「23 出席に関する配慮」453校。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		773	194	356	336	451	86	542	523	289
1 点訳・墨訳		35	35	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		113	67	16	18	10	7	22	10	3
3 教材の拡大		155	100	1	20	16	17	30	4	7
4 ガイドヘルプ		39	22	0	13	3	3	2	0	0
5 リーディングサービス		24	15	0	3	1	2	4	1	0
6 手話通訳		48	1	47	—	—	4	—	—	—
7 ノートテイク		151	8	125	22	5	12	15	4	0
8 パソコンテイク		130	6	113	5	1	7	14	6	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		125	7	117	0	4	9	5	3	3
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		89	18	17	13	12	4	42	24	4
11 試験時間延長・別室受験		288	76	14	98	74	28	133	113	36
12 解答方法配慮		187	66	9	57	25	20	72	39	8
13 パソコンの持込使用許可		200	58	22	64	26	18	85	26	11
14 注意事項等文書伝達		269	23	114	25	50	13	180	84	19
15 使用教室配慮		193	13	21	111	56	17	29	29	11
16 実技・実習配慮		384	39	62	139	171	29	129	120	66
17 教室内座席配慮		513	96	187	190	162	49	178	223	125
18 FM補聴器・マイク使用		186	—	182	—	—	10	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		192	19	8	132	38	27	10	16	14
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		125	44	75	4	6	4	16	9	2
21 講義に関する配慮		375	80	79	96	70	23	265	125	43
22 配慮依頼文書の配付		544	136	249	219	328	64	415	377	214
23 出席に関する配慮		453	12	9	123	265	45	261	331	154
24 学習指導		297	12	15	17	49	6	225	124	20
25 授業内容の代替、提出期限延長等		366	31	43	72	145	17	249	243	68
26 履修支援		261	38	27	41	53	10	182	126	23
27 学外実習・フィールドワーク配慮		212	19	37	60	92	14	72	69	19
28 その他		375	66	107	62	174	26	218	204	89

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援(総表)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業以外の支援状況について、多い順に「8 専門家によるカウンセリング」469校、「9 医療機関との連携」302校、「5 自己管理指導」301校。

○障害種別で見ると多い順に「8 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」379校、「精神障害」377校、「9 医療機関との連携」については「精神障害」193校、「発達障害」175校。

表27 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		695	99	180	260	381	70	526	487	179
学生生活支援		423	46	50	153	136	38	263	206	38
1 居場所の確保		237	19	17	37	39	8	161	137	21
2 通学支援		198	8	4	128	70	26	11	28	4
3 個別支援情報の収集		143	17	25	30	36	9	85	38	11
4 情報取得支援		160	20	17	12	23	8	123	65	9
社会的スキル指導		365	12	20	24	60	13	317	197	35
5 自己管理指導		301	8	13	15	40	9	269	147	27
6 対人関係配慮		263	5	11	9	24	6	218	135	11
7 日常生活支援		99	3	5	10	17	5	62	56	9
保健管理・生活支援		568	36	75	149	268	39	419	417	134
8 専門家によるカウンセリング		469	30	52	46	135	14	379	377	99
9 医療機関との連携		302	4	7	17	98	8	175	193	22
10 医療機器、薬剤の保管等		86	2	2	8	55	4	12	11	3
11 休憩室・治療室の確保等		274	11	16	61	133	12	109	129	42
12 生活介助		63	0	0	29	19	4	0	0	17
13 介助者の入構、入室許可		113	6	7	71	27	11	6	12	2
進路・就職指導		346	43	86	103	115	32	252	168	43
14 キャリア教育		212	27	40	48	48	15	168	87	18
15 障害学生向け求人情報の提供		210	29	48	70	55	16	140	64	17
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		259	32	60	77	81	22	182	118	24
17 インターンシップ先の開拓		88	7	14	19	19	5	61	30	6
18 就職先の開拓、就職活動支援		220	25	48	56	63	16	144	91	19
その他		268	29	33	86	121	13	126	113	38

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援(大学)

<概要>

○大学における障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」430校、「17 教室内座席配慮」401校、「23 出席に関する配慮」382校。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		577	173	307	306	366	82	428	428	247
1 点訳・墨訳		35	35	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		110	67	16	18	9	7	20	10	3
3 教材の拡大		142	93	1	20	13	17	28	4	6
4 ガイドヘルプ		38	22	0	13	3	3	1	0	0
5 リーディングサービス		24	15	0	3	1	2	4	1	0
6 手話通訳		48	1	47	—	—	4	—	—	—
7 ノートテイク		144	8	119	22	5	12	14	4	0
8 パソコンテイク		124	6	109	5	1	7	12	5	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		121	7	113	0	4	9	5	3	3
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		78	18	16	12	10	4	35	19	2
11 試験時間延長・別室受験		249	74	14	97	66	28	114	98	29
12 解答方法配慮		173	64	9	56	24	20	65	34	7
13 パソコンの持込使用許可		186	56	22	61	25	17	76	23	11
14 注意事項等文書伝達		231	21	111	24	42	13	152	74	14
15 使用教室配慮		175	13	20	102	52	16	26	26	10
16 実技・実習配慮		301	34	55	121	136	27	108	100	49
17 教室内座席配慮		401	80	159	177	146	45	146	188	108
18 FM補聴器・マイク使用		163	—	159	—	—	10	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		177	19	8	124	35	25	9	13	13
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		117	43	71	4	5	4	14	9	2
21 講義に関する配慮		327	76	76	91	63	22	242	112	39
22 配慮依頼文書の配付		430	129	229	206	287	63	348	326	198
23 出席に関する配慮		382	11	9	120	231	44	238	290	139
24 学習指導		236	11	13	16	40	6	181	105	16
25 授業内容の代替、提出期限延長等		311	31	41	70	126	17	220	215	61
26 履修支援		230	37	27	40	49	10	162	113	20
27 学外実習・フィールドワーク配慮		177	19	33	52	69	14	62	59	16
28 その他		304	62	96	58	147	25	185	180	76

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ 授業以外の支援(大学)

&lt;概要&gt;

○大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」372校、「5 自己管理指導」249校、「9 医療機関との連携」240校。

表29 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		531	92	158	243	308	67	415	396	153
学生生活支援		347	44	43	146	115	38	208	178	31
1 居場所の確保		189	19	16	33	33	8	127	115	16
2 通学支援		183	7	4	125	65	26	9	24	3
3 個別支援情報の収集		109	15	20	27	27	9	57	32	10
4 情報取得支援		146	20	16	12	22	8	113	60	8
社会的スキル指導		295	12	19	22	53	13	262	170	32
5 自己管理指導		249	8	13	15	36	9	229	133	24
6 対人関係配慮		210	5	10	9	21	6	176	112	11
7 日常生活支援		83	3	5	8	15	5	54	51	7
保健管理・生活支援		445	34	67	143	219	37	343	341	114
8 専門家によるカウンセリング		372	28	46	45	116	13	313	311	86
9 医療機関との連携		240	4	6	15	73	8	145	162	18
10 医療機器、薬剤の保管等		63	1	2	6	40	3	8	8	3
11 休憩室・治療室の確保等		224	9	15	59	109	11	89	106	34
12 生活介助		59	0	0	28	18	4	0	0	15
13 介助者の入構、入室許可		106	6	6	68	25	11	5	12	2
進路・就職指導		288	40	79	99	108	31	219	148	40
14 キャリア教育		179	24	40	46	45	14	145	76	16
15 障害学生向け求人情報の提供		185	27	45	66	52	15	128	61	17
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		224	31	58	74	79	21	163	106	23
17 インターンシップ先の開拓		77	7	14	19	18	4	55	27	6
18 就職先の開拓、就職活動支援		183	24	42	54	57	15	127	80	18
その他		219	26	29	78	93	12	104	93	31

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 オ 授業支援(短期大学)

<概要>

○短期大学における障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」85校、「17 教室  
内座席配慮」79校、「16 実技・実習配慮」59校。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	(校)	計	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 言 語 障 害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		147	16	30	17	61	3	71	76	27
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		1	0	0	0	0	0	1	0	0
3 教材の拡大		10	7	0	0	1	0	1	0	1
4 ガイドヘルプ		1	0	0	0	0	0	1	0	0
5 リーディングサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		0	0	0	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		7	0	6	0	0	0	1	0	0
8 パソコンテイク		4	0	4	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		4	0	4	0	0	0	0	0	0
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		9	0	1	0	2	0	6	5	2
11 試験時間延長・別室受験		20	2	0	1	2	0	8	10	5
12 解答方法配慮		7	2	0	0	0	0	2	2	1
13 パソコンの持込使用許可		7	2	0	2	0	0	3	1	0
14 注意事項等文書伝達		24	2	2	0	4	0	16	9	3
15 使用教室配慮		11	0	1	6	1	1	2	2	1
16 実技・実習配慮		59	2	4	9	23	1	16	17	11
17 教室内座席配慮		79	12	16	7	11	3	18	32	11
18 FM補聴器・マイク使用		13	—	13	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		9	0	0	4	1	1	1	3	1
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		6	1	4	0	0	0	1	0	0
21 講義に関する配慮		35	4	2	4	4	1	14	11	3
22 配慮依頼文書の配付		85	7	16	9	32	1	42	41	12
23 出席に関する配慮		50	1	0	1	26	1	13	31	12
24 学習指導		38	1	1	1	6	0	23	14	2
25 授業内容の代替、提出期限延長等		33	0	1	0	12	0	13	18	5
26 履修支援		28	1	0	0	4	0	17	13	3
27 学外実習・フィールドワーク配慮		27	0	4	3	17	0	9	10	2
28 その他		47	2	9	3	17	1	16	21	6

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援(短期大学)

&lt;概要&gt;

○短期大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」59校、「9 医療機関との連携」32校、「11 休憩室・治療室の確保等」30校。

表31 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		115	6	15	9	44	2	64	60	12
学生生活支援		46	2	4	5	14	0	28	20	3
1 居場所の確保		25	0	1	3	3	0	16	15	2
2 通学支援		13	1	0	2	5	0	2	3	1
3 個別支援情報の収集		19	2	2	1	5	0	14	4	0
4 情報取得支援		8	0	1	0	1	0	4	5	1
社会的スキル指導		38	0	1	1	5	0	23	25	2
5 自己管理指導		26	0	0	0	3	0	14	14	2
6 対人関係配慮		26	0	1	0	1	0	16	21	0
7 日常生活支援		8	0	0	1	2	0	1	5	1
保健管理・生活支援		79	2	5	2	26	1	38	48	9
8 専門家によるカウンセリング		59	2	3	1	9	1	30	41	5
9 医療機関との連携		32	0	1	1	12	0	12	17	1
10 医療機器、薬剤の保管等		7	1	0	0	4	0	0	2	0
11 休憩室・治療室の確保等		30	2	1	1	12	1	9	15	3
12 生活介助		2	0	0	0	0	0	0	0	2
13 介助者の入構、入室許可		4	0	1	0	2	0	1	0	0
進路・就職指導		43	3	7	4	5	1	21	17	2
14 キャリア教育		26	3	0	2	2	1	17	10	2
15 障害学生向け求人情報の提供		20	2	3	4	3	1	7	3	0
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		25	1	2	3	2	1	10	10	0
17 インターンシップ先の開拓		8	0	0	0	0	1	4	3	0
18 就職先の開拓、就職活動支援		27	1	6	2	5	1	9	9	0
その他		22	2	2	3	12	0	6	12	2

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援(高等専門学校)

<概要>

○高等専門学校における障害学生への授業支援状況について、多い順に「17 教室内座席配慮」33校、「22 配慮  
依頼文書の配付」29校、「16 実技・実習配慮」24校。

表32 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	(校)	計	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 言 語 障 害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		49	5	19	13	24	1	43	19	15
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		2	0	0	0	1	0	1	0	0
3 教材の拡大		3	0	0	0	2	0	1	0	0
4 ガイドヘルプ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		0	0	0	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコンテイク		2	0	0	0	0	0	2	1	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		2	0	0	1	0	0	1	0	0
11 試験時間延長・別室受験		19	0	0	0	6	0	11	5	2
12 解答方法配慮		7	0	0	1	1	0	5	3	0
13 パソコンの持込使用許可		7	0	0	1	1	1	6	2	0
14 注意事項等文書伝達		14	0	1	1	4	0	12	1	2
15 使用教室配慮		7	0	0	3	3	0	1	1	0
16 実技・実習配慮		24	3	3	9	12	1	5	3	6
17 教室内座席配慮		33	4	12	6	5	1	14	3	6
18 FM補聴器・マイク使用		10	—	10	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		6	0	0	4	2	1	0	0	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		2	0	0	0	1	0	1	0	0
21 講義に関する配慮		13	0	1	1	3	0	9	2	1
22 配慮依頼文書の配付		29	0	4	4	9	0	25	10	4
23 出席に関する配慮		21	0	0	2	8	0	10	10	3
24 学習指導		23	0	1	0	3	0	21	5	2
25 授業内容の代替、提出期限延長等		22	0	1	2	7	0	16	10	2
26 履修支援		3	0	0	1	0	0	3	0	0
27 学外実習・フィールドワーク配慮		8	0	0	5	6	0	1	0	1
28 その他		24	2	2	1	10	0	17	3	7

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援(高等専門学校)

&lt;概要&gt;

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」38校、「9 医療機関との連携」30校、「6 対人関係配慮」27校。

表33 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		49	1	7	8	29	1	47	31	14
学生生活支援		30	0	3	2	7	0	27	8	4
1 居場所の確保		23	0	0	1	3	0	18	7	3
2 通学支援		2	0	0	1	0	0	0	1	0
3 個別支援情報の収集		15	0	3	2	4	0	14	2	1
4 情報取得支援		6	0	0	0	0	0	6	0	0
社会的スキル指導		32	0	0	1	2	0	32	2	1
5 自己管理指導		26	0	0	0	1	0	26	0	1
6 対人関係配慮		27	0	0	0	2	0	26	2	0
7 日常生活支援		8	0	0	1	0	0	7	0	1
保健管理・生活支援		44	0	3	4	23	1	38	28	11
8 専門家によるカウンセリング		38	0	3	0	10	0	36	25	8
9 医療機関との連携		30	0	0	1	13	0	18	14	3
10 医療機器、薬剤の保管等		16	0	0	2	11	1	4	1	0
11 休憩室・治療室の確保等		20	0	0	1	12	0	11	8	5
12 生活介助		2	0	0	1	1	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		3	0	0	3	0	0	0	0	0
進路・就職指導		15	0	0	0	2	0	12	3	1
14 キャリア教育		7	0	0	0	1	0	6	1	0
15 障害学生向け求人情報の提供		5	0	0	0	0	0	5	0	0
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		10	0	0	0	0	0	9	2	1
17 インターンシップ先の開拓		3	0	0	0	1	0	2	0	0
18 就職先の開拓、就職活動支援		10	0	0	0	1	0	8	2	1
その他		27	1	2	5	16	1	16	8	5

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり



(3)主な支援 ア 視覚障害

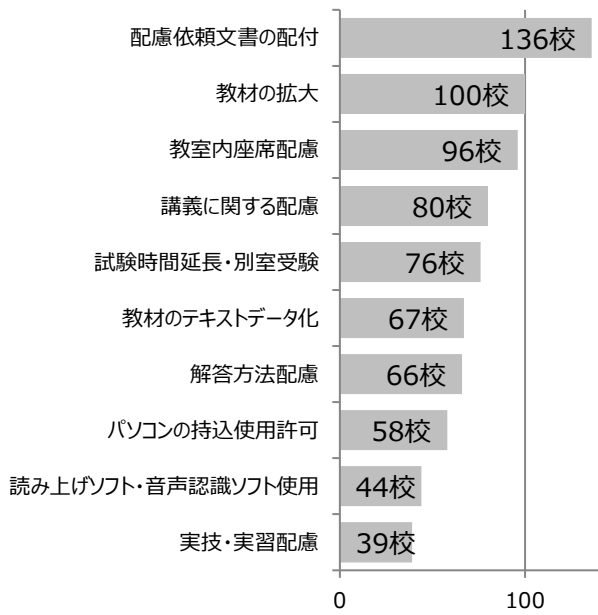


図9 主な授業支援（視覚障害）

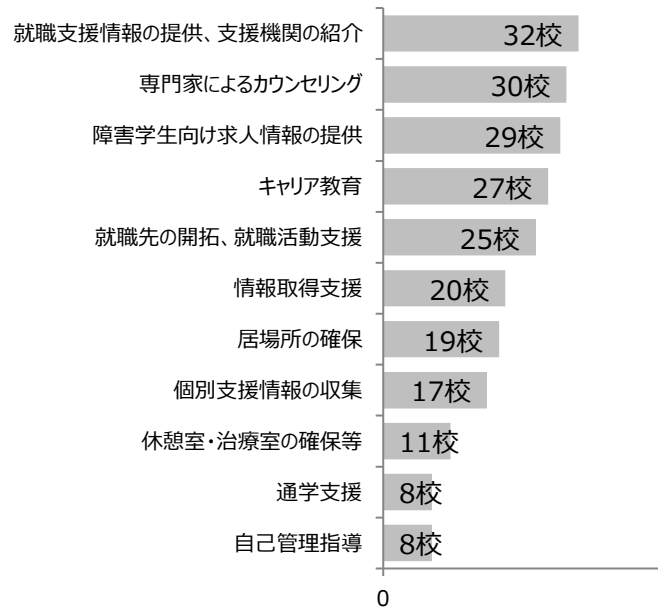


図10 主な授業以外の支援（視覚障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 イ 聴覚・言語障害

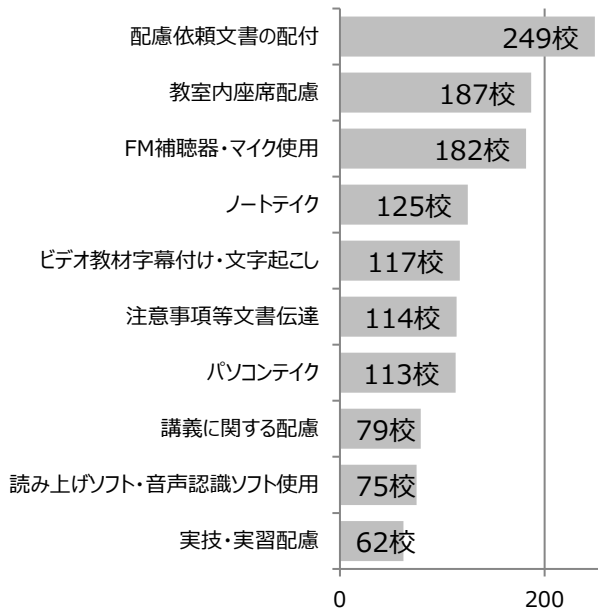


図11 主な授業支援（聴覚・言語障害）

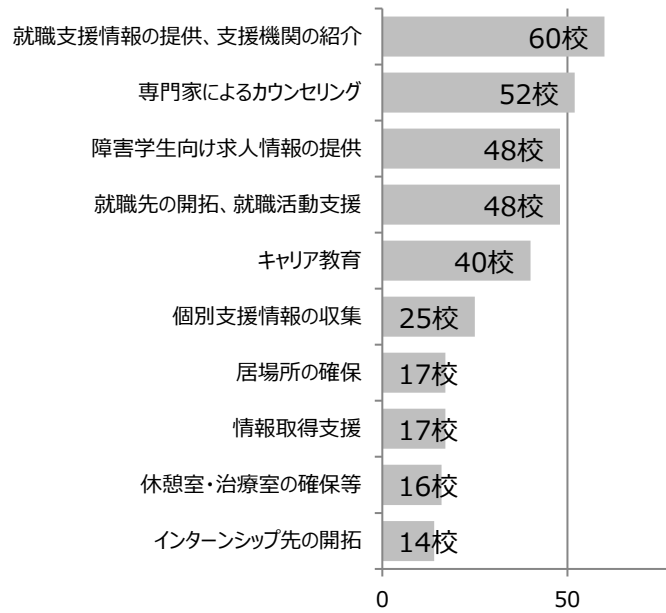


図12 主な授業以外の支援（聴覚・言語障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 ウ 肢体不自由

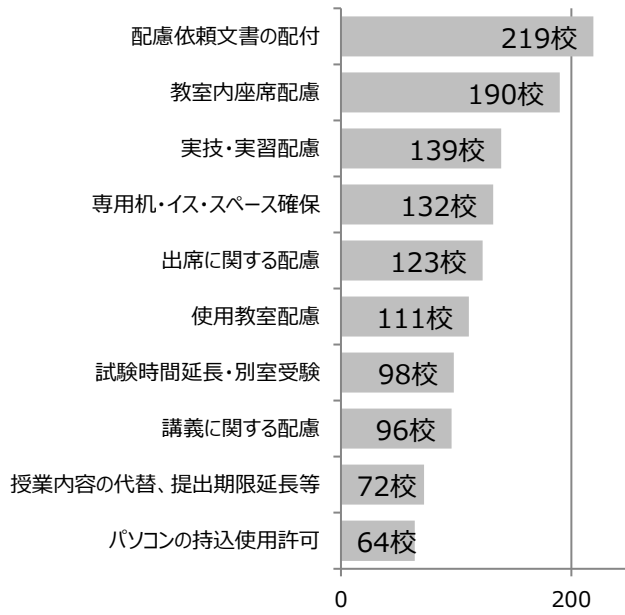


図13 主な授業支援（肢体不自由）

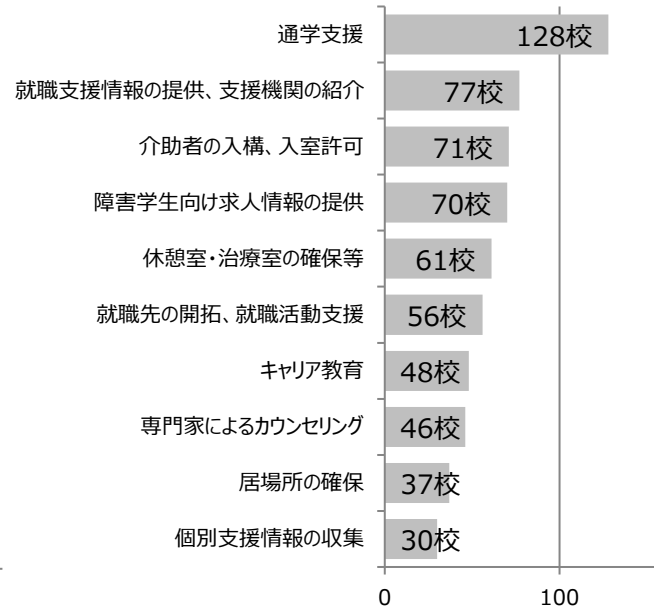


図14 主な授業以外の支援（肢体不自由）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 エ 病弱・虚弱

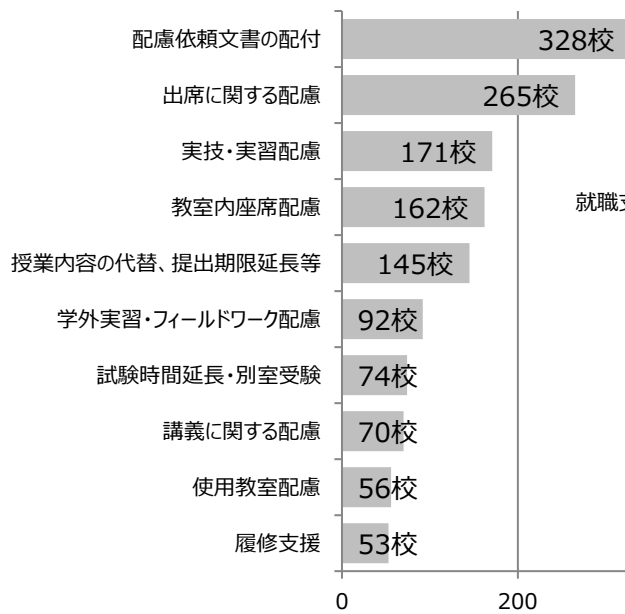


図15 主な授業支援（病弱・虚弱）

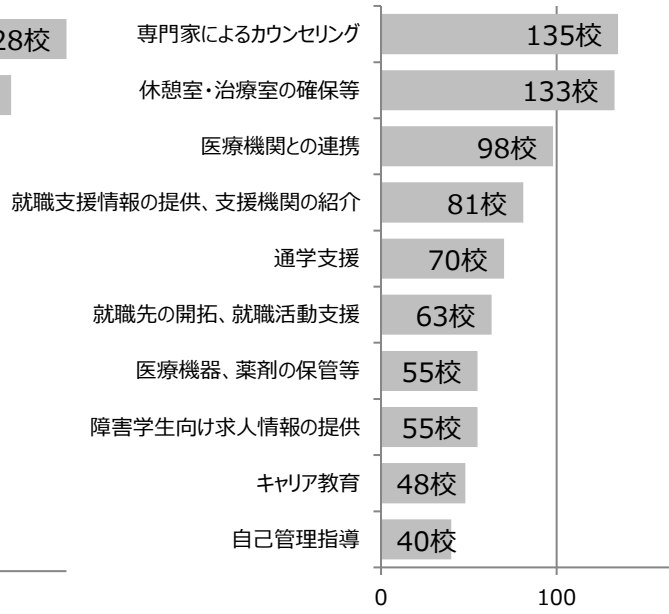


図16 主な授業以外の支援（病弱・虚弱）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 オ 発達障害

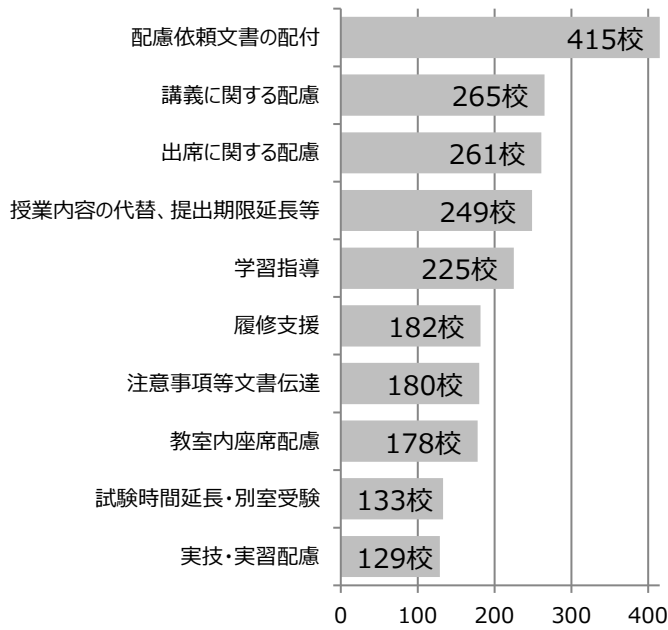


図17 主な授業支援（発達障害）

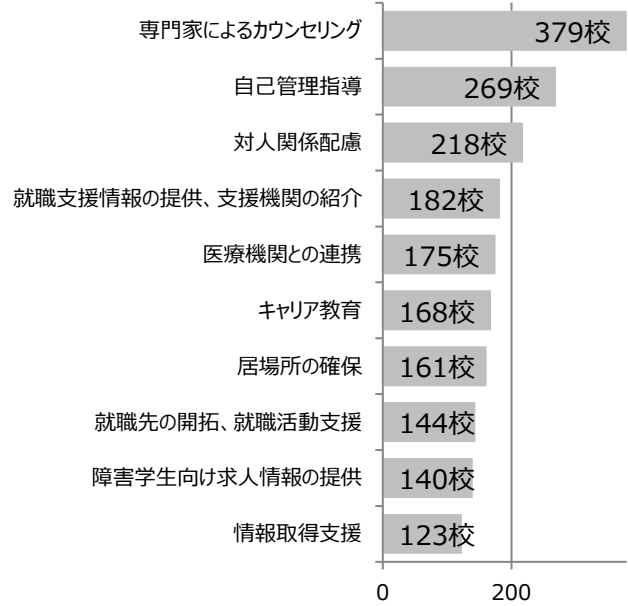


図18 主な授業以外の支援（発達障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 カ 精神障害

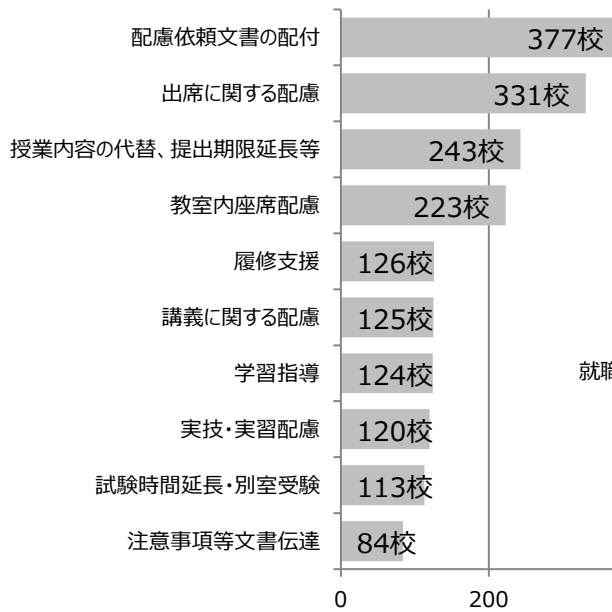


図19 主な授業支援（精神障害）

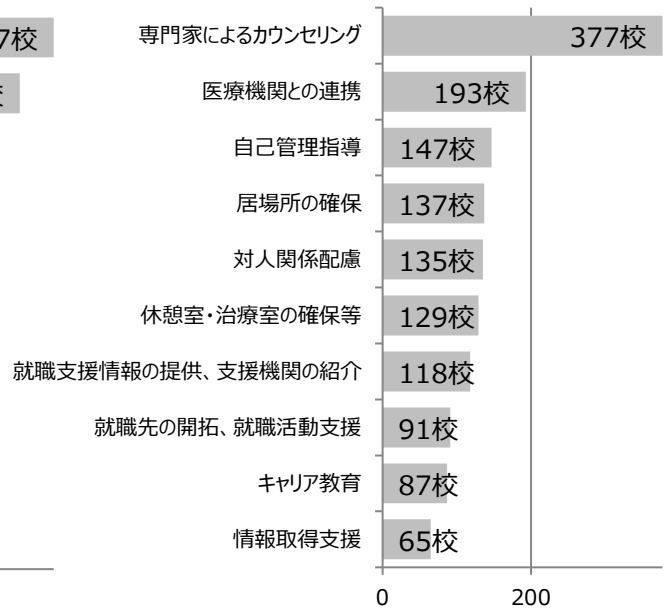


図20 主な授業以外の支援（精神障害）

※ 複数回答あり

## 7. 障害学生支援に関する体制等

### (1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領または基本方針、規程等がある」学校は816校で、全学校(1,173校)の69.6%。「令和2年度中に策定予定」である学校38校を合わせると854校であり、全学校(1,173校)の72.8%。「対応要領または基本方針、規則等はない」学校は319校で全学校(1,173校)の27.2%。

表34 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の学校数		対応要領または基本方針 規程等がある		令和2年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない			
	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)		
計	1,173		816	69.6	656	38	3.2	28	319	27.2	138
大学	801		575	71.8	489	24	3.0	19	202	25.2	102
短期大学	315		188	59.7	121	13	4.1	8	114	36.2	33
高等専門学校	57		53	93.0	46	1	1.8	1	3	5.3	3

表35 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の学校数		対応要領または基本方針 規程等がある		令和2年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない			
	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)		
障害学生21人以上	433		378	87.3	359	13	3.0	11	42	9.7	34
大学	377		326	86.5	315	12	3.2	10	39	10.3	31
短期大学	13		10	76.9	9	0	0.0	0	3	23.1	3
高等専門学校	43		42	97.7	35	1	2.3	1	0	0.0	0
障害学生11～20人	127		104	81.9	94	1	0.8	1	22	17.3	17
大学	92		76	82.6	70	1	1.1	1	15	16.3	12
短期大学	30		24	80.0	20	0	0.0	0	6	20.0	4
高等専門学校	5		4	80.0	4	0	0.0	0	1	20.0	1
障害学生6～10人	132		88	66.7	80	7	5.3	6	37	28.0	33
大学	78		47	60.3	45	4	5.1	4	27	34.6	25
短期大学	49		37	75.5	31	3	6.1	2	9	18.4	7
高等専門学校	5		4	80.0	4	0	0.0	0	1	20.0	1
障害学生2～5人	160		101	63.1	83	4	2.5	4	55	34.4	38
大学	86		50	58.1	41	2	2.3	2	34	39.5	23
短期大学	71		49	69.0	40	2	2.8	2	20	28.2	14
高等専門学校	3		2	66.7	2	0	0.0	0	1	33.3	1
障害学生1人	83		46	55.4	40	7	8.4	6	30	36.1	16
大学	43		22	51.2	18	3	7.0	2	18	41.9	11
短期大学	39		23	59.0	21	4	10.3	4	12	30.8	5
高等専門学校	1		1	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	238		99	41.6	—	6	2.5	—	133	55.9	—
大学	125		54	43.2	—	2	1.6	—	69	55.2	—
短期大学	113		45	39.8	—	4	3.5	—	64	56.6	—
高等専門学校	0		—	—	—	—	—	—	—	—	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見てみると、「専門委員会を設置」している学校は500校で、全学校(1,173校)の42.6%。「他の委員会が対応」する学校は567校で、全学校(1,173校)の48.3%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校は1,067校で、全学校(1,173校)の91.0%にあたる。

表36 障害学生支援に関する専門委員会等 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	専門委員会を設置 (%)	支援障 害学生 在籍校	他の委員会が対応 (%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
計	1,173	1,067	91.0	776	500	42.6	432	567	48.3	344	106	9.0	46
大学	801	740	92.4	576	363	45.3	335	377	47.1	241	61	7.6	34
短期大学	315	273	86.7	152	108	34.3	71	165	52.4	81	42	13.3	10
高等専門学校	57	54	94.7	48	29	50.9	26	25	43.9	22	3	5.3	2

表37 障害学生支援に関する専門委員会等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	専門委員会を設置 (%)	支援障 害学生 在籍校	他の委員会が対応 (%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
障害学生21人以上	433	415	95.8	390	257	59.4	250	158	36.5	140	18	4.2	14
大学	377	362	96.0	343	229	60.7	225	133	35.3	118	15	4.0	13
短期大学	13	11	84.6	11	6	46.2	6	5	38.5	5	2	15.4	1
高等専門学校	43	42	97.7	36	22	51.2	19	20	46.5	17	1	2.3	0
障害学生11～20人	127	120	94.5	106	65	51.2	57	55	43.3	49	7	5.5	6
大学	92	88	95.7	79	49	53.3	44	39	42.4	35	4	4.3	4
短期大学	30	28	93.3	23	14	46.7	11	14	46.7	12	2	6.7	1
高等専門学校	5	4	80.0	4	2	40.0	2	2	40.0	2	1	20.0	1
障害学生6～10人	132	124	93.9	112	59	44.7	54	65	49.2	58	8	6.1	7
大学	78	74	94.9	70	36	46.2	34	38	48.7	36	4	5.1	4
短期大学	49	45	91.8	37	21	42.9	18	24	49.0	19	4	8.2	3
高等専門学校	5	5	100.0	5	2	40.0	2	3	60.0	3	0	0.0	0
障害学生2～5人	160	145	90.6	112	52	32.5	45	93	58.1	67	15	9.4	13
大学	86	78	90.7	59	24	27.9	22	54	62.8	37	8	9.3	7
短期大学	71	65	91.5	51	26	36.6	21	39	54.9	30	6	8.5	5
高等専門学校	3	2	66.7	2	2	66.7	2	0	0.0	0	1	33.3	1
障害学生1人	83	73	88.0	56	26	31.3	26	47	56.6	30	10	12.0	6
大学	43	35	81.4	25	10	23.3	10	25	58.1	15	8	18.6	6
短期大学	39	37	94.9	30	15	38.5	15	22	56.4	15	2	5.1	0
高等専門学校	1	1	0.0	1	1	0.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	238	190	79.8	—	41	17.2	—	149	62.6	—	48	20.2	—
大学	125	103	82.4	—	15	12.0	—	88	70.4	—	22	17.6	—
短期大学	113	87	77.0	—	26	23.0	—	61	54.0	—	26	23.0	—
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

- 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校76校と「他の機関が対応している」学校519校を合わせた595校で組織的な対応をしており、全学校(1,173校)の50.7%にあたる。
- 「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は578校で、全学校の(1,173校)の49.3%にあたる。

表38 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数		第三者的視点で調整を行なう機関がある						第三者的視点で調整を行なう機関はない				
	(校)	(%)	支援障害学生在籍校		他の機関で対応している		支援障害学生在籍校		支援障害学生在籍校				
			(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)			
計	1,173	595	441	76	64	519	377	578	381				
大学	801	432	342	66	59	366	283	369	268				
短期大学	315	135	74	8	4	127	70	180	88				
高等専門学校	57	28	25	2	1	26	24	29	25				

表39 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [障害学生数別・学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数		第三者的視点で調整を行なう機関がある						第三者的視点で調整を行なう機関はない				
	(校)	(%)	支援障害学生在籍校		他の機関で対応している		支援障害学生在籍校		支援障害学生在籍校				
			(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)			
障害学生21人以上	433	257	242	48	45	209	197	176	162				
大学	377	231	219	45	43	186	176	146	137				
短期大学	13	4	4	1	1	3	3	9	8				
高等専門学校	43	22	19	2	1	20	18	21	17				
障害学生11～20人	127	67	60	12	10	55	50	60	52				
大学	92	49	45	10	9	39	36	43	38				
短期大学	30	15	12	2	1	13	11	15	12				
高等専門学校	5	3	3	0	0	3	3	2	2				
障害学生6～10人	132	59	54	4	3	55	51	73	65				
大学	78	35	34	3	2	32	32	43	40				
短期大学	49	22	18	1	1	21	17	27	22				
高等専門学校	5	2	2	0	0	2	2	3	3				
障害学生2～5人	160	72	58	5	4	67	54	88	67				
大学	86	40	31	4	3	36	28	46	35				
短期大学	71	31	26	1	1	30	25	40	30				
高等専門学校	3	1	1	0	0	1	1	2	2				
障害学生1人	83	36	27	2	2	34	25	47	35				
大学	43	18	13	2	2	16	11	25	18				
短期大学	39	18	14	0	0	18	14	21	16				
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	1	1				
障害学生0人	238	104	5	2.1	—	99	—	134	—				
大学	125	59	—	1.6	—	57	—	66	—				
短期大学	113	45	—	2.7	—	42	—	68	—				
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—				

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校278校と「他の部署・機関が対応」する学校858校を合わせた1,136校で、組織的な対応をしており、全学校(1,173校)の96.8%にあたる。

○「対応する部署・機関はない」学校は37校で、全学校の(1,173校)の3.2%にあたる。

表40 障害学生支援担当部署 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 在籍校		支援障 害学生 在籍校		
			(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)
計	1,173	1,136	96.8	816	278	23.7	255	858	73.1	561	37	3.2	6
大学	801	782	97.6	605	213	26.6	205	569	71.0	400	19	2.4	5
短期大学	315	298	94.6	162	49	15.6	35	249	79.0	127	17	5.4	0
高等専門学校	57	56	98.2	49	16	28.1	15	40	70.2	34	1	1.8	1

表41 障害学生支援担当部署 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 在籍校		支援障 害学生 在籍校		
			(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(校)	(%)
障害学生21人以上	433	433	100.0	404	174	40.2	172	259	59.8	232	0	0.0	0
大学	377	377	100.0	356	156	41.4	155	221	58.6	201	0	0.0	0
短期大学	13	13	100.0	12	4	30.8	4	9	69.2	8	0	0.0	0
高等専門学校	43	43	100.0	36	14	32.6	13	29	67.4	23	0	0.0	0
障害学生11～20人	127	126	99.2	111	28	22.0	27	98	77.2	84	1	0.8	1
大学	92	92	100.0	83	24	26.1	23	68	73.9	60	0	0.0	0
短期大学	30	30	100.0	24	3	10.0	3	27	90.0	21	0	0.0	0
高等専門学校	5	4	80.0	4	1	20.0	1	3	60.0	3	1	20.0	1
障害学生6～10人	132	131	99.2	118	28	21.2	27	103	78.0	91	1	0.8	1
大学	78	77	98.7	73	15	19.2	15	62	79.5	58	1	1.3	1
短期大学	49	49	100.0	40	12	24.5	11	37	75.5	29	0	0.0	0
高等専門学校	5	5	100.0	5	1	20.0	1	4	80.0	4	0	0.0	0
障害学生2～5人	160	160	100.0	125	22	13.8	19	138	86.3	106	0	0.0	0
大学	86	86	100.0	66	10	11.6	9	76	88.4	57	0	0.0	0
短期大学	71	71	100.0	56	12	16.9	10	59	83.1	46	0	0.0	0
高等専門学校	3	3	100.0	3	0	0.0	0	3	100.0	3	0	0.0	0
障害学生1人	83	77	92.8	58	10	12.0	10	67	80.7	48	6	7.2	4
大学	43	38	88.4	27	3	7.0	3	35	81.4	24	5	11.6	4
短期大学	39	38	97.4	30	7	17.9	7	31	79.5	23	1	2.6	0
高等専門学校	1	1	0.0	1	0	0.0	0	1	0.0	1	0	0.0	0
障害学生0人	238	209	87.8	—	16	6.7	—	193	81.1	—	29	12.2	—
大学	125	112	89.6	—	5	4.0	—	107	85.6	—	13	10.4	—
短期大学	113	97	85.8	—	11	9.7	—	86	76.1	—	16	14.2	—
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校245校と「兼任」を配置している学校881校を合わせた1,126校で支援担当者を配置しており、全学校(1,173校)の96.0%にあたる。

表42 障害学生支援担当者 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)				
計	1,173	1,126	96.0	809	245	20.9	219	881	75.1	590	502	42.8
大学	801	775	96.8	599	200	25.0	185	575	71.8	414	336	41.9
短期大学	315	295	93.7	161	38	12.1	27	257	81.6	134	127	40.3
高等専門学校	57	56	98.2	49	7	12.3	7	49	86.0	42	39	68.4

表43 障害学生支援担当者 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)				
障害学生21人以上	433	427	98.6	401	163	37.6	159	264	61.0	242	222	51.3
大学	377	371	98.4	353	159	42.2	155	212	56.2	198	181	48.0
短期大学	13	13	100.0	12	2	15.4	2	11	84.6	10	8	61.5
高等専門学校	43	43	100.0	36	2	4.7	2	41	95.3	34	33	76.7
障害学生11～20人	127	124	97.6	109	22	17.3	22	102	80.3	87	53	41.7
大学	92	90	97.8	81	16	17.4	16	74	80.4	65	38	41.3
短期大学	30	30	100.0	24	4	13.3	4	26	86.7	20	12	40.0
高等専門学校	5	4	80.0	4	2	40.0	2	2	40.0	2	3	60.0
障害学生6～10人	132	131	99.2	119	20	15.2	20	111	84.1	99	66	50.0
大学	78	78	100.0	74	9	11.5	9	69	88.5	65	35	44.9
短期大学	49	48	98.0	40	9	18.4	9	39	79.6	31	28	57.1
高等専門学校	5	5	100.0	5	2	40.0	2	3	60.0	3	3	60.0
障害学生2～5人	160	158	98.8	123	13	8.1	11	145	90.6	112	66	41.3
大学	86	85	98.8	65	5	5.8	4	80	93.0	61	37	43.0
短期大学	71	70	98.6	55	7	9.9	6	63	88.7	49	29	40.8
高等専門学校	3	3	100.0	3	1	33.3	1	2	66.7	2	0	0.0
障害学生1人	83	77	92.8	57	9	10.8	7	68	81.9	50	29	34.9
大学	43	37	86.0	26	2	4.7	1	35	81.4	25	14	32.6
短期大学	39	39	100.0	30	7	17.9	6	32	82.1	24	15	38.5
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	0	0.0
障害学生0人	238	209	87.8	—	18	7.6	—	191	80.3	—	66	27.7
大学	125	114	91.2	—	9	7.2	—	105	84.0	—	31	24.8
短期大学	113	95	84.1	—	9	8.0	—	86	76.1	—	35	31.0
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

※ 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。



(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフでは、最も多いのが「コーディネーター」128校。次いで「職員」106校、「教員」61校。
- ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」995校。次いで「教員」670校、「カウンセラー」381校。

表44 障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ								兼任スタッフ								外部委託				
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
計	935	245	128	41	5	7	106	61	43	1,088	100	381	183	18	995	670	65	502	446	53	37	
大学	676	200	106	35	5	7	94	55	34	750	72	278	155	16	691	435	50	336	295	42	22	
短期大学	202	38	19	5	0	0	10	4	8	283	20	87	26	2	257	185	12	127	113	11	10	
高等専門学校	57	7	3	1	0	0	2	2	1	55	8	16	2	0	47	50	3	39	38	0	5	

表45 障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ								兼任スタッフ								外部委託				
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
障害学生21人以上	433	163	94	23	4	7	83	46	25	411	48	192	104	8	367	263	29	222	190	31	23	
大学	377	159	90	23	4	7	81	45	25	357	40	177	101	8	318	217	28	181	151	30	17	
短期大学	13	2	2	0	0	0	1	0	0	12	1	3	1	0	11	7	0	8	7	1	1	
高等専門学校	43	2	2	0	0	0	1	1	0	42	7	12	2	0	38	39	1	33	32	0	5	
障害学生11～20人	127	22	10	5	0	0	7	6	4	119	19	45	15	0	111	66	6	53	49	4	4	
大学	92	16	8	5	0	0	5	5	3	86	14	32	13	0	80	45	4	38	35	3	2	
短期大学	30	4	1	0	0	0	2	0	1	29	4	12	2	0	28	18	2	12	11	1	2	
高等専門学校	5	2	1	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	3	3	0	3	3	0	0	
障害学生6～10人	132	20	15	3	0	0	3	1	3	129	11	36	18	3	120	81	10	66	61	5	4	
大学	78	9	7	2	0	0	2	1	1	78	9	19	12	2	74	45	7	35	32	4	2	
短期大学	49	9	8	0	0	0	1	0	1	46	2	16	6	1	42	31	2	28	26	1	2	
高等専門学校	5	2	0	1	0	0	0	0	1	5	0	1	0	0	4	5	1	3	3	0	0	
障害学生2～5人	160	13	5	1	0	0	6	1	2	153	15	52	22	2	144	95	8	66	60	8	1	
大学	86	5	1	0	0	0	3	1	1	83	4	23	12	1	81	50	5	37	33	4	1	
短期大学	71	7	4	1	0	0	2	0	1	67	11	28	10	1	62	43	2	29	27	4	0	
高等専門学校	3	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	
障害学生1人	83	9	2	2	1	0	2	2	3	74	3	21	8	0	72	50	1	29	25	1	3	
大学	43	2	0	1	1	0	1	1	1	36	3	9	5	0	36	20	0	14	14	0	0	
短期大学	39	7	2	1	0	0	1	1	2	37	0	11	3	0	35	29	1	15	11	1	3	
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
障害学生0人	238	18	2	7	0	0	5	5	6	202	4	35	16	5	181	115	11	66	61	4	2	
大学	125	9	0	4	0	0	2	2	3	110	2	18	12	5	102	58	6	31	30	1	0	
短期大学	113	9	2	3	0	0	3	3	3	92	2	17	4	0	79	57	5	35	31	3	2	
高等専門学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 複数回答あり

表46 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

(校)	支援障害学生在籍校	専任スタッフ		コーディネーター		カウンセラー		支援技術を持つ教職員		職員		教員		その他		兼任スタッフ		コーディネーター		カウンセラー		支援技術を持つ教職員		職員		教員		その他		外部委託		医師・カウンセラー等		専門技能者		その他	
計	822	219	125	34	5	7	96	54	34	782	89	322	154	13	716	486	49	384	334	48	34																
大学	610	185	105	31	5	7	88	51	29	581	68	249	134	11	531	341	41	281	241	41	22																
短期大学	162	27	17	2	0	0	6	1	4	153	14	59	19	2	144	102	5	71	62	7	7																
高等専門学校	50	7	3	1	0	0	2	2	1	48	7	14	1	0	41	43	3	32	31	0	5																

表47 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	支援障害学生在籍校	専任スタッフ		コーディネーター		カウンセラー		支援技術を持つ教職員		職員		教員		その他		兼任スタッフ		コーディネーター		カウンセラー		支援技術を持つ教職員		職員		教員		その他		外部委託		医師・カウンセラー等		専門技能者		その他	
障害学生21人以上	404	159	93	23	4	7	79	44	25	387	46	187	100	8	344	246	28	203	171	31	23																
大学	356	155	89	23	4	7	77	43	25	341	39	175	98	8	302	207	27	170	140	30	17																
短期大学	12	2	2	0	0	0	1	0	0	11	1	2	1	0	10	7	0	7	6	1	1																
高等専門学校	36	2	2	0	0	0	1	1	0	35	6	10	1	0	32	32	1	26	25	0	5																
障害学生11～20人	112	22	10	5	0	0	7	6	4	104	18	42	14	0	98	57	4	47	43	4	4																
大学	83	16	8	5	0	0	5	5	3	77	13	29	12	0	72	40	3	35	32	3	2																
短期大学	24	4	1	0	0	0	2	0	1	23	4	12	2	0	23	14	1	9	8	1	2																
高等専門学校	5	2	1	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	3	3	0	3	3	0	0																
障害学生6～10人	119	20	15	3	0	0	3	1	3	117	11	34	16	3	109	70	10	58	53	5	4																
大学	74	9	7	2	0	0	2	1	1	74	9	19	11	2	70	42	7	34	31	4	2																
短期大学	40	9	8	0	0	0	1	0	1	38	2	14	5	1	35	23	2	21	19	1	2																
高等専門学校	5	2	0	1	0	0	0	0	1	5	0	1	0	0	4	5	1	3	3	0	0																
障害学生2～5人	125	11	5	1	0	0	5	1	1	119	11	39	18	2	111	76	6	53	47	7	1																
大学	66	4	1	0	0	0	3	1	0	64	4	17	10	1	62	38	4	32	28	4	1																
短期大学	56	6	4	1	0	0	1	0	1	52	7	21	8	1	48	36	1	21	19	3	0																
高等専門学校	3	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0																
障害学生1人	62	7	2	2	1	0	2	2	1	55	3	20	6	0	54	37	1	23	20	1	2																
大学	31	1	0	1	1	0	1	1	0	25	3	9	3	0	25	14	0	10	10	0	0																
短期大学	30	6	2	1	0	0	1	1	1	29	0	10	3	0	28	22	1	13	10	1	2																
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0																
障害学生0人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																
大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																
短期大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																
高等専門学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																

※ 支援障害学生在籍校:各障害学生数区分のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

## (5)障害学生の相談受付窓口

### <概要>

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は936校で、全体の学校数(1,173校)の79.8%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は751校。

表48 障害学生の相談受付窓口の設置状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある		936	658	225	53
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している		751	537	168	46
窓口は設けているが、特に周知はしていない		185	121	57	7
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない		237	143	90	4
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している		159	98	58	3
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない		78	45	32	1

## (6)支援の申し出等に関する対応手順

### <概要>

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校は350校。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校264校と合わせると614校で、全体の学校数(1,173校)の52.3%。

表49 支援の申し出等に関する対応手順

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある		350	258	71	21
対応要領等に対応手順が記載されている		264	190	61	13
対応手順を規定する文書はない		559	353	183	23

※複数回答あり

## (7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

&lt;概要&gt;

- 大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて以下の整備状況である。
- ・屋外については「道路の舗装、段差の解消等」、「専用駐車場」が多い。
  - ・屋内については「エレベーター」、「障害者用トイレ」が多い。

表50 施設・設備の整備状況

		学内全体に (校) 整備	現在必要な 箇所に整備	部分的に整 備している が不十分	整備中また は年度内に 整備予定	未整備
大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	166	323	260	2	50
	手すり、スロープ、階段昇降機等	94	375	284	2	46
	点字ブロック、標識シール等	51	184	261	3	302
	専用駐車場	155	397	119	0	130
屋内	自動扉等出入口の整備	122	308	281	2	88
	エレベーター	215	343	220	1	22
	手すり、スロープ、階段昇降機等	105	336	316	2	42
	車椅子移動等に必要なスペース確保	169	300	252	1	79
	点字プレート等教室表示	25	88	110	3	575
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	10	20	0	771
	障害者用トイレ	194	393	191	0	23
	自習室、独習室	57	238	168	3	335
	磁気誘導ループ	0	5	9	1	786
	点字プリンタ	—	76	26	4	695
支援機器	立体コピー機	—	33	8	4	756
	拡大読書機	—	96	55	5	645
	点字携帯端末	—	28	9	2	762
	筆談器等	—	129	97	3	572
	車椅子、簡易ベッド等	—	500	245	1	55
	その他	10	70	12	0	—
短期大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	52	108	116	1	38
	手すり、スロープ、階段昇降機等	22	124	129	1	39
	点字ブロック、標識シール等	13	46	64	2	190
	専用駐車場	47	130	37	1	100
屋内	自動扉等出入口の整備	32	102	99	2	80
	エレベーター	59	117	85	1	53
	手すり、スロープ、階段昇降機等	27	121	129	1	37
	車椅子移動等に必要なスペース確保	42	107	105	2	59
	点字プレート等教室表示	1	22	29	1	263
	聴覚障害者用屋内信号装置	1	2	3	0	309
	障害者用トイレ	50	139	96	0	30
	自習室、独習室	15	71	48	2	179
	磁気誘導ループ	0	2	2	0	311
	点字プリンタ	—	9	4	0	302
支援機器	立体コピー機	—	5	1	1	308
	拡大読書機	—	12	4	2	297
	点字携帯端末	—	4	0	1	310
	筆談器等	—	25	21	1	268
	車椅子、簡易ベッド等	—	185	99	1	30
	その他	1	11	3	0	—
高等専門学校						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	11	19	27	0	0
	手すり、スロープ、階段昇降機等	9	21	26	1	0
	点字ブロック、標識シール等	0	4	17	0	36
	専用駐車場	10	29	13	0	5
屋内	自動扉等出入口の整備	9	18	27	1	2
	エレベーター	10	23	23	0	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等	7	23	26	1	0
	車椅子移動等に必要なスペース確保	9	19	23	1	5
	点字プレート等教室表示	0	0	4	0	53
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57
	障害者用トイレ	12	22	22	0	1
	自習室、独習室	1	13	9	0	34
	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57
	点字プリンタ	—	0	0	0	57
支援機器	立体コピー機	—	3	1	0	53
	拡大読書機	—	0	1	0	56
	点字携帯端末	—	0	0	0	57
	筆談器等	—	2	3	0	52
	車椅子、簡易ベッド等	—	36	19	0	2
	その他	1	3	0	0	—

## (8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

&lt;概要&gt;

○支援学生在籍学校数の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校が202校であり、支援学生在籍校228校の88.6%となっている。

表51 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

(校)	支援学生がいる																
	①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる					②①以外の支援学生がいる				iii)その他							
	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他		
計	228	202	176	32	6	14	8	6	0	2	2	0	0	23	15	6	2
大学	197	174	156	23	6	13	8	5	0	1	1	0	0	20	14	4	2
短期大学	24	23	18	6	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
高等専門学校	7	5	2	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
51人以上	33	32	32	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	2	0	1
大学	31	30	30	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	2	0	1
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41～50人	20	20	18	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
大学	19	19	17	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
短期大学	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31～40人	9	9	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
大学	9	9	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21～30人	24	21	18	4	0	2	2	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1
大学	21	18	16	3	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11～20人	39	37	31	8	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
大学	36	34	28	8	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6～10人	29	27	24	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
大学	26	24	22	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
短期大学	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～5人	74	56	45	13	1	6	4	2	0	0	0	0	0	15	11	4	0
大学	55	40	35	6	1	5	4	1	0	0	0	0	0	12	10	2	0
短期大学	15	14	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
高等専門学校	4	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
支援学生はいない	945																
大学	604																
短期大学	291																
高等専門学校	50																

※①②は複数回答あり。

## 8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

### (1) 学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,066校であり、そのうち支援障害学生が在籍する学校は790校である。

表52 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
計	1,173	1,066	790
大学	801	730	587
短期大学	315	281	155
高等専門学校	57	55	48

表53 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
障害学生21人以上	433	428	401
大学	377	373	354
短期大学	13	12	11
高等専門学校	43	43	36
障害学生11～20人	127	124	109
大学	92	90	81
短期大学	30	30	24
高等専門学校	5	4	4
障害学生6～10人	132	126	115
大学	78	74	71
短期大学	49	47	39
高等専門学校	5	5	5
障害学生2～5人	160	147	114
大学	86	76	57
短期大学	71	69	55
高等専門学校	3	2	2
障害学生1人	83	65	51
大学	43	30	24
短期大学	39	34	26
高等専門学校	1	1	1
障害学生0人	238	176	0
大学	125	87	0
短期大学	113	89	0
高等専門学校	0	-	-

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

## (2)学校種別・内容別

## &lt;概要&gt;

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」785校(前年度770校)、「1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」696校(同676校)、「3 支援情報の公開」681校(同596校)。

表54 活動・取組実施状況 [学校種別・内容別]

	(校) 実施校数	大学	短期大学	高等 専門学校	全実施校	全学校
					1,066校 中の実施率 (%)	1,173校 中の実施率 (%)
1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	696 (676)	484 (474)	172 (168)	40 (34)	65.3 (62.9)	59.3 (57.6)
2 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	580 (560)	413 (402)	131 (129)	36 (29)	54.4 (52.1)	49.4 (47.7)
3 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)	681 (596)	503 (448)	132 (109)	46 (39)	63.9 (55.5)	58.1 (50.8)
4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	785 (770)	561 (554)	189 (186)	35 (30)	73.6 (71.7)	66.9 (65.6)
5 他大学等との連携	263 (254)	207 (200)	41 (41)	15 (13)	24.7 (23.6)	22.4 (21.6)
6 学外機関との連携	451 (461)	329 (343)	95 (93)	27 (25)	42.3 (42.9)	38.4 (39.3)
7 相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け)	355 (340)	271 (260)	64 (60)	20 (20)	33.3 (31.7)	30.3 (29.0)
8 障害学生支援に関する(学内)研修	337 (430)	237 (309)	77 (95)	23 (26)	31.6 (40.0)	28.7 (36.6)
9 教員向け各種研修(FD等)	316 (381)	220 (277)	74 (79)	22 (25)	29.6 (35.5)	26.9 (32.5)
9 職員向け各種研修(SD等)	255 (349)	177 (254)	63 (81)	15 (14)	23.9 (32.5)	21.7 (29.7)
10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	377 (616)	272 (434)	70 (136)	35 (46)	35.4 (57.4)	32.1 (52.5)
11 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)	144 (202)	126 (177)	17 (24)	1 (1)	13.5 (18.8)	12.3 (17.2)
12 支援マニュアル、パンフレット等の配布	270 (252)	220 (210)	48 (40)	2 (2)	25.3 (23.5)	23.0 (21.5)
13 オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供	325 (335)	256 (261)	60 (63)	9 (11)	30.5 (31.2)	27.7 (28.5)
14 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知	260 (248)	202 (194)	46 (45)	12 (9)	24.4 (23.1)	22.2 (21.1)
15 障害学生支援に関する講座講演等イベント	107 (144)	90 (120)	15 (23)	2 (1)	10.0 (13.4)	9.1 (12.3)
16 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポランティア論等)	430 (416)	331 (319)	98 (96)	1 (1)	40.3 (38.7)	36.7 (35.4)

※ 複数回答あり

( )内は前年度数値

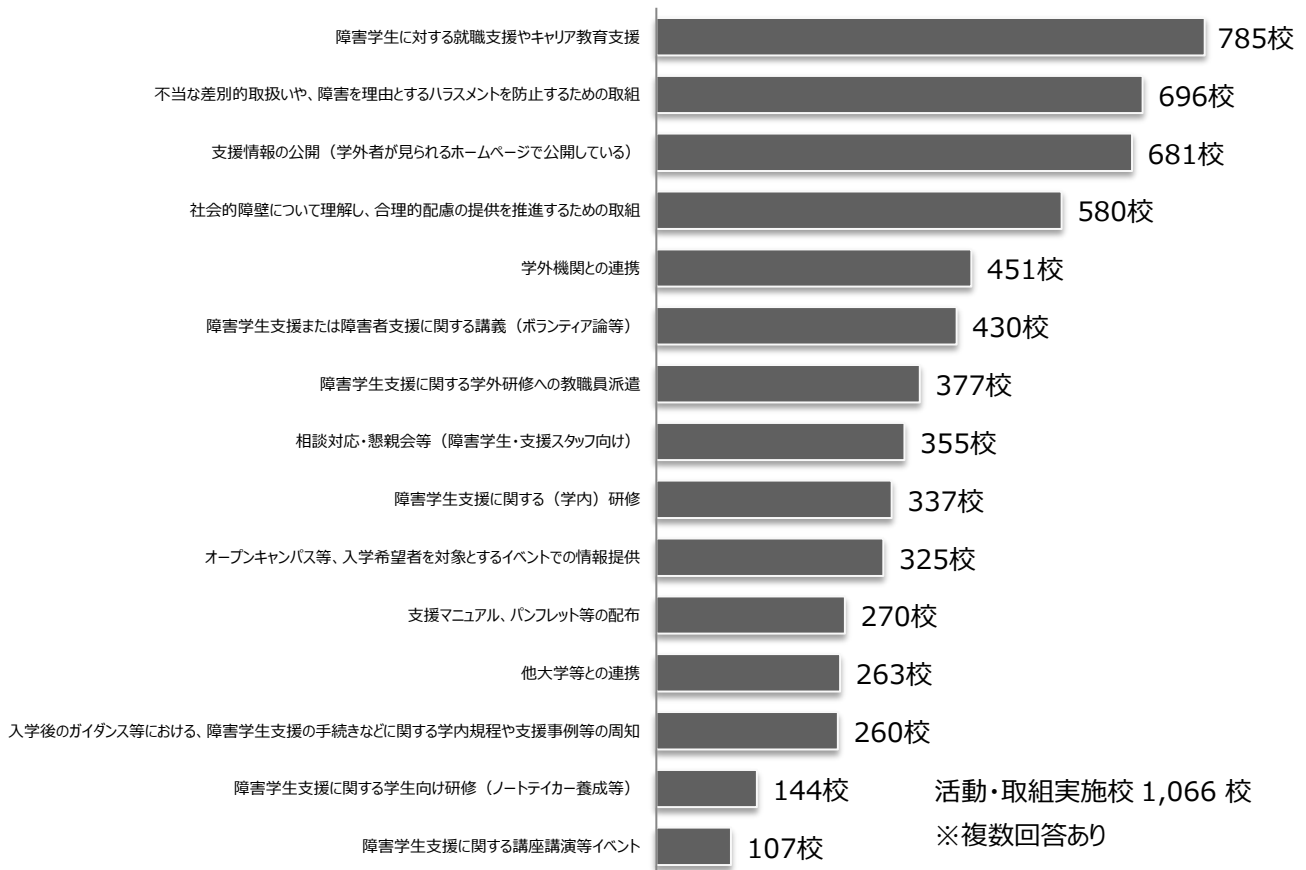


図21 活動・取組実施状況（内容別）

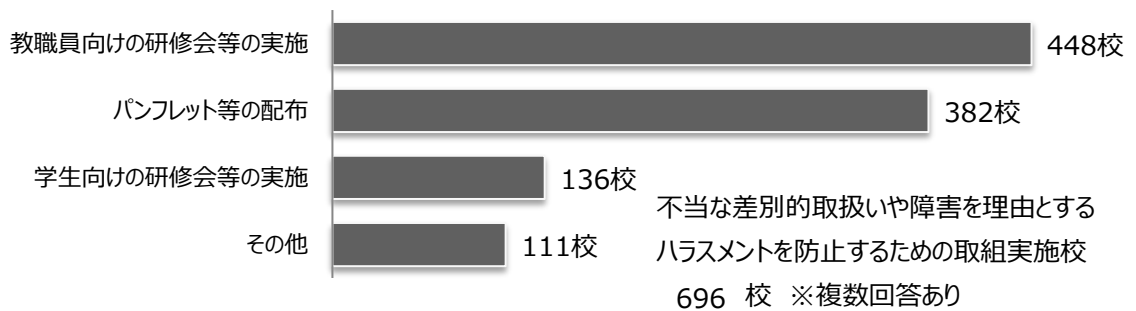


図22 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

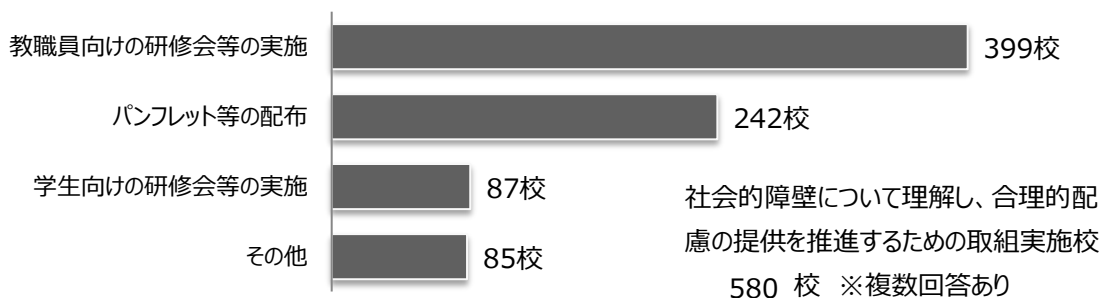


図23 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組



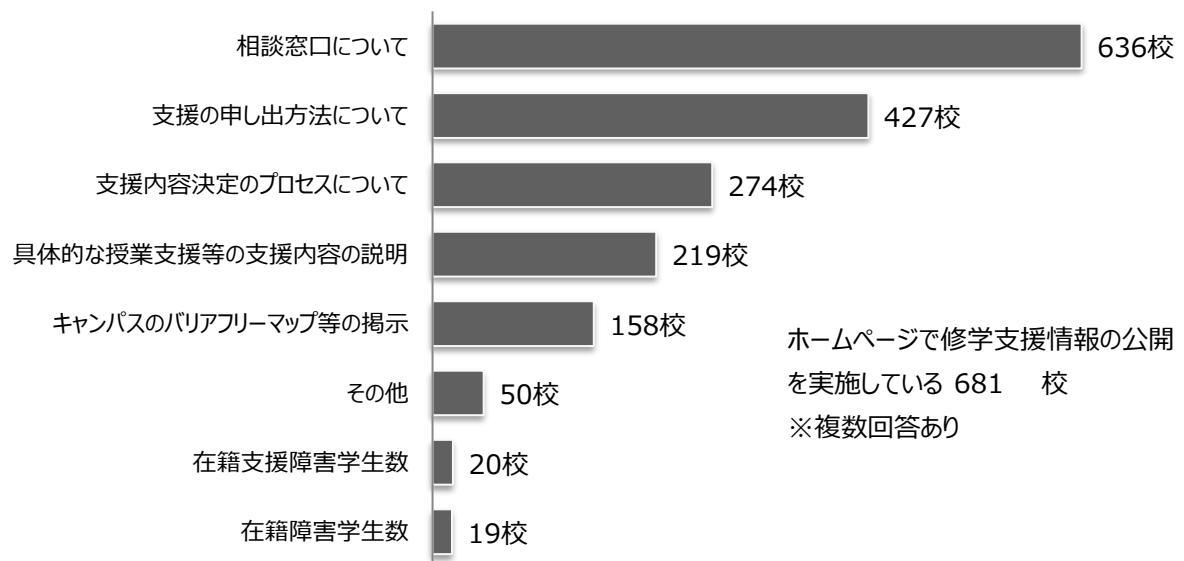


図24 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

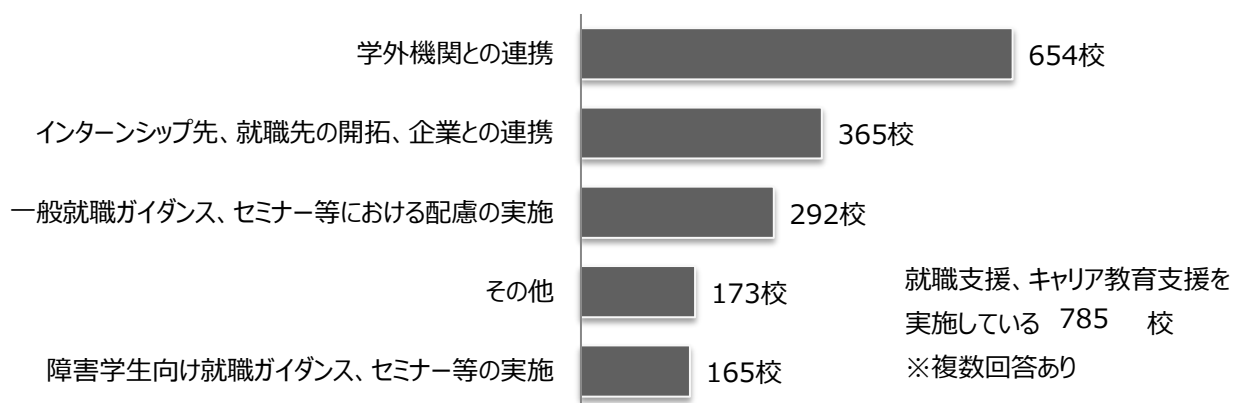


図25 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

## 9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

### (1) 入学者選抜における配慮に関する体制

<概要>

- 令和2年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が838校である。
- 入学選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が546校である。

表55 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
入試要項(紙)及びホームページに記載		838	627	161	50
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		821	616	155	50
個々の困難に応じた配慮内容を記載		14	14	0	0
その他		15	13	2	0
入試要項(紙)のみに記載		169	97	68	4
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		158	94	60	4
個々の困難に応じた配慮内容を記載		7	4	3	0
その他		8	2	6	0
入試要項(紙)にもホームページにも記載していない		138	60	75	3

※複数回答あり

表56 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
随時受け付けている		397	253	129	15
全学共通のルールで期間を設けている		546	406	102	38
出願受付締め切りまで		79	60	15	4
試験前日まで		5	3	1	1
その他		462	343	86	33
学部、学科等や入試形態によって違う		62	57	4	1
特に告知はしていないが、相談があれば対応する		161	83	75	3

(2)入学者選抜において実施可能な配慮

<概要>

○令和2年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「車椅子等の持参使用」と「別室を設定」が957校、  
「松葉杖の持参使用」が947校。

表57 入学者選抜において実施可能な配慮

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答		150	135	15	0
拡大文字問題の準備		600	454	126	20
拡大解答用紙の準備		572	432	120	20
音声で出題し音声で解答		60	50	10	0
マークシートに替えて文字で解答		149	128	20	1
チェック解答		190	161	27	2
試験時間の延長		661	506	132	23
照明器具の準備		434	325	88	21
特製机の使用		411	339	60	12
拡大鏡等の持参使用		747	559	157	31
補聴器の持参使用		870	643	192	35
車椅子等の持参使用		957	690	224	43
松葉杖の持参使用		947	681	222	44
パソコン等の持参使用		207	165	39	3
手話通訳者の付与		152	129	23	0
文書による伝達		640	494	126	20
窓側の明るい席の指定		886	633	211	42
トイレに近接する試験室に指定		905	662	202	41
別室を設定		957	685	227	45
試験室を一階に設定		670	482	152	36
介助者の付与		368	291	69	8
試験場への車での入構許可		901	654	207	40
その他		226	188	25	13

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和2年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学においては「精神障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」が最も多い。

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

	(人)	※の内では受験上の配慮を実施した数					
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者
計	4,242	7,832	7,837	5,589	4,875	3,544	1,573
視覚障害	227	244	256	150	120	206	110
盲	38	40	43	29	23	41	27
弱視	189	204	213	121	97	165	83
聴覚・言語障害	953	998	1,016	533	419	867	415
聾	137	187	205	143	132	181	129
難聴	805	792	792	376	274	677	281
言語障害のみ	11	19	19	14	13	9	5
肢体不自由	429	538	546	366	313	362	191
上肢機能障害	40	62	63	44	36	32	15
下肢機能障害	170	218	221	138	115	144	66
上下肢機能障害	175	204	207	141	125	157	93
他の機能障害	44	54	55	43	37	29	17
病弱・虚弱	560	2,203	2,226	1,838	1,716	456	182
内部障害等	437	1,420	1,443	1,173	1,077	361	151
他の慢性疾患	123	783	783	665	639	95	31
重複	52	63	66	37	35	51	26
発達障害	590	1,407	1,384	1,097	987	408	166
SLD	53	66	65	41	37	38	18
ADHD	130	331	331	259	240	92	26
ASD	273	716	701	563	515	183	77
発達障害の重複	134	294	287	234	195	95	45
精神障害	788	1,442	1,429	1,006	830	644	267
統合失調症等	30	74	74	55	45	19	7
気分障害	32	180	175	159	136	22	12
神経症性障害等	396	620	617	397	313	334	136
摂食障害・睡眠障害等	11	76	73	72	68	6	3
他の精神障害	319	492	490	323	268	263	109
その他の障害	643	937	914	562	455	550	216

表59 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	(人)	※の内では受験上の配慮を実施した数					
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者
計	4,111	6,887	6,889	4,705	4,042	3,445	1,497
視覚障害	221	230	240	138	112	198	106
盲	37	38	41	27	22	40	26
弱視	184	192	199	111	90	158	80
聴覚・言語障害	938	961	980	499	388	852	402
聾	134	184	202	140	130	179	127
難聴	793	762	763	349	249	664	270
言語障害のみ	11	15	15	10	9	9	5
肢体不自由	417	508	514	337	288	350	183
上肢機能障害	37	51	52	33	28	31	14
下肢機能障害	166	208	209	128	105	139	63
上下肢機能障害	170	197	200	136	121	151	89
他の機能障害	44	52	53	40	34	29	17
病弱・虚弱	532	1,896	1,904	1,539	1,434	435	169
内部障害等	415	1,243	1,256	1,002	922	345	142
他の慢性疾患	117	653	648	537	512	90	27
重複	51	62	65	36	34	50	25
発達障害	554	1,102	1,092	827	723	386	148
SLD	51	55	54	31	27	34	15
ADHD	127	249	249	182	164	90	25
ASD	248	552	546	421	377	171	67
発達障害の重複	128	246	243	193	155	91	41
精神障害	766	1,302	1,287	871	710	631	254
統合失調症等	29	72	72	53	43	19	7
気分障害	30	156	152	135	116	22	12
神経症性障害等	387	563	557	343	267	326	128
摂食障害・睡眠障害等	10	68	65	64	61	6	3
他の精神障害	310	443	441	276	223	258	104
その他の障害	632	826	807	458	353	543	210

※ 相談者と志願者は学校が記入した数そのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表60 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計	88	539	558	539	490	62	54
視覚障害	4	11	11	10	6	4	3
盲	1	1	1	1	0	1	1
弱視	3	10	10	9	6	3	2
聴覚・言語障害	8	23	23	23	20	8	8
聾	3	3	3	3	2	2	2
難聴	5	19	19	19	17	6	6
言語障害のみ	0	1	1	1	1	0	0
肢体不自由	8	23	24	24	21	8	8
上肢機能障害	2	8	8	8	6	1	1
下肢機能障害	3	8	9	9	9	3	3
上下肢機能障害	3	5	5	5	4	4	4
他の機能障害	0	2	2	2	2	0	0
病弱・虚弱	22	226	237	228	212	17	11
内部障害等	16	136	141	135	120	12	7
他の慢性疾患	6	90	96	93	92	5	4
重複	1	1	1	1	1	1	1
発達障害	19	93	98	91	85	8	7
SLD	0	5	5	5	5	0	0
ADHD	1	20	21	21	20	1	1
ASD	15	51	55	49	45	6	5
発達障害の重複	3	17	17	16	15	1	1
精神障害	19	111	113	111	96	11	11
統合失調症等	1	2	2	2	2	0	0
気分障害	2	19	18	18	14	0	0
神経症性障害等	9	47	50	50	42	8	8
摂食障害・睡眠障害等	0	6	6	6	5	0	0
他の精神障害	7	37	37	35	33	3	3
その他の障害	7	51	51	51	49	5	5

表61 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計	43	406	390	345	343	37	22
視覚障害	2	3	5	2	2	4	1
盲	0	1	1	1	1	0	0
弱視	2	2	4	1	1	4	1
聴覚・言語障害	7	14	13	11	11	7	5
聾	0	0	0	0	0	0	0
難聴	7	11	10	8	8	7	5
言語障害のみ	0	3	3	3	3	0	0
肢体不自由	4	7	8	5	4	4	0
上肢機能障害	1	3	3	3	2	0	0
下肢機能障害	1	2	3	1	1	2	0
上下肢機能障害	2	2	2	0	0	2	0
他の機能障害	0	0	0	1	1	0	0
病弱・虚弱	6	81	85	71	70	4	2
内部障害等	6	41	46	36	35	4	2
他の慢性疾患	0	40	39	35	35	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	17	212	194	179	179	14	11
SLD	2	6	6	5	5	4	3
ADHD	2	62	61	56	56	1	0
ASD	10	113	100	93	93	6	5
発達障害の重複	3	31	27	25	25	3	3
精神障害	3	29	29	24	24	2	2
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	0	5	5	6	6	0	0
神経症性障害等	0	10	10	4	4	0	0
摂食障害・睡眠障害等	1	2	2	2	2	0	0
他の精神障害	2	12	12	12	12	2	2
その他の障害	4	60	56	53	53	2	1

※ 相談者と志願者は学校が記入した数そのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和2年度入学者選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」が最も多い。

表62 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](総表)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試					
計	3,544	3,389	849	298	525	26	2,540	41	106	4	4
視覚障害	206	187	89	37	51	1	98	4	13	1	1
盲	41	33	20	8	12	0	13	1	6	0	1
弱視	165	154	69	29	39	1	85	3	7	1	0
聴覚・言語障害	867	827	266	105	153	8	561	5	34	0	1
聾	181	170	101	36	60	5	69	0	10	0	1
難聴	677	648	160	69	88	3	488	5	24	0	0
言語障害のみ	9	9	5	0	5	0	4	0	0	0	0
肢体不自由	362	318	126	45	73	8	192	17	25	2	0
上肢機能障害	32	27	11	6	3	2	16	1	4	0	0
下肢機能障害	144	133	43	15	28	0	90	4	7	0	0
上下肢機能障害	157	132	59	20	34	5	73	12	12	1	0
他の機能障害	29	26	13	4	8	1	13	0	2	1	0
病弱・虚弱	456	438	100	33	64	3	338	5	12	0	1
内部障害等	361	346	78	25	51	2	268	5	10	0	0
他の慢性疾患	95	92	22	8	13	1	70	0	2	0	1
重複	51	50	25	7	17	1	25	0	1	0	0
発達障害	408	397	93	36	53	4	304	2	8	1	0
SLD	38	37	14	7	6	1	23	1	0	0	0
ADHD	92	90	11	4	6	1	79	0	2	0	0
ASD	183	177	44	18	25	1	133	1	4	1	0
発達障害の重複	95	93	24	7	16	1	69	0	2	0	0
精神障害	644	628	91	19	72	0	537	8	7	0	1
統合失調症等	19	17	1	0	1	0	16	2	0	0	0
気分障害	22	18	2	0	2	0	16	4	0	0	0
神経症性障害等	334	329	30	7	23	0	299	2	2	0	1
摂食障害・睡眠障害等	6	6	3	0	3	0	3	0	0	0	0
他の精神障害	263	258	55	12	43	0	203	0	5	0	0
その他の障害	550	544	59	16	42	1	485	0	6	0	0

表63 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試					
計	3,445	3,292	793	283	487	23	2,499	41	106	4	2
視覚障害	198	179	83	34	48	1	96	4	13	1	1
盲	40	32	19	7	12	0	13	1	6	0	1
弱視	158	147	64	27	36	1	83	3	7	1	0
聴覚・言語障害	852	812	256	101	147	8	556	5	34	0	1
聾	179	168	99	35	59	5	69	0	10	0	1
難聴	664	635	152	66	83	3	483	5	24	0	0
言語障害のみ	9	9	5	0	5	0	4	0	0	0	0
肢体不自由	350	306	117	42	67	8	189	17	25	2	0
上肢機能障害	31	26	10	5	3	2	16	1	4	0	0
下肢機能障害	139	128	39	15	24	0	89	4	7	0	0
上下肢機能障害	151	126	55	18	32	5	71	12	12	1	0
他の機能障害	29	26	13	4	8	1	13	0	2	1	0
病弱・虚弱	435	418	89	31	55	3	329	5	12	0	0
内部障害等	345	330	69	24	43	2	261	5	10	0	0
他の慢性疾患	90	88	20	7	12	1	68	0	2	0	0
重複	50	49	25	7	17	1	24	0	1	0	0
発達障害	386	375	83	34	48	1	292	2	8	1	0
SLD	34	33	13	7	6	0	20	1	0	0	0
ADHD	90	88	9	3	6	0	79	0	2	0	0
ASD	171	165	39	17	21	1	126	1	4	1	0
発達障害の重複	91	89	22	7	15	0	67	0	2	0	0
精神障害	631	616	86	18	68	0	530	8	7	0	0
統合失調症等	19	17	1	0	1	0	16	2	0	0	0
気分障害	22	18	2	0	2	0	16	4	0	0	0
神経症性障害等	326	322	28	7	21	0	294	2	2	0	0
摂食障害・睡眠障害等	6	6	3	0	3	0	3	0	0	0	0
他の精神障害	258	253	52	11	41	0	201	0	5	0	0
その他の障害	543	537	54	16	37	1	483	0	6	0	0

表64 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](短期大学)

	学部・学科(通学)								学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試		AO入試	推薦入試	障害者 特別入試	特別入試 以外				
計		62	60	40	13	26	1	20	0	—	—	2
視覚障害		4	4	3	2	1	0	1	0	—	—	0
盲		1	1	1	1	0	0	0	0	—	—	0
弱視		3	3	2	1	1	0	1	0	—	—	0
聴覚・言語障害		8	8	7	4	3	0	1	0	—	—	0
聾		2	2	2	1	1	0	0	0	—	—	0
難聴		6	6	5	3	2	0	1	0	—	—	0
言語障害のみ		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
肢体不自由		8	8	8	3	5	0	0	0	—	—	0
上肢機能障害		1	1	1	1	0	0	0	0	—	—	0
下肢機能障害		3	3	3	0	3	0	0	0	—	—	0
上下肢機能障害		4	4	4	2	2	0	0	0	—	—	0
他の機能障害		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
病弱・虚弱		17	16	10	2	8	0	6	0	—	—	1
内部障害等		12	12	8	1	7	0	4	0	—	—	0
他の慢性疾患		5	4	2	1	1	0	2	0	—	—	1
重複		1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0
発達障害		8	8	5	1	3	1	3	0	—	—	0
SLD		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
ADHD		1	1	1	0	0	1	0	0	—	—	0
ASD		6	6	4	1	3	0	2	0	—	—	0
発達障害の重複		1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0
精神障害		11	10	3	1	2	0	7	0	—	—	1
統合失調症等		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
気分障害		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
神経症性障害等		8	7	2	0	2	0	5	0	—	—	1
摂食障害・睡眠障害等		0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
他の精神障害		3	3	1	1	0	0	2	0	—	—	0
その他の障害		5	5	4	0	4	0	1	0	—	—	0

表65 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	学部・学科(通学)								学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試		AO入試	推薦入試	障害者 特別入試	特別入試 以外				
計		37	37	16	2	12	2	21	—	—	—	0
視覚障害		4	4	3	1	2	0	1	—	—	—	0
盲		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
弱視		4	4	3	1	2	0	1	—	—	—	0
聴覚・言語障害		7	7	3	0	3	0	4	—	—	—	0
聾		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
難聴		7	7	3	0	3	0	4	—	—	—	0
言語障害のみ		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
肢体不自由		4	4	1	0	1	0	3	—	—	—	0
上肢機能障害		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
下肢機能障害		2	2	1	0	1	0	1	—	—	—	0
上下肢機能障害		2	2	0	0	0	0	2	—	—	—	0
他の機能障害		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
病弱・虚弱		4	4	1	0	1	0	3	—	—	—	0
内部障害等		4	4	1	0	1	0	3	—	—	—	0
他の慢性疾患		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
重複		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
発達障害		14	14	5	1	2	2	9	—	—	—	0
SLD		4	4	1	0	0	1	3	—	—	—	0
ADHD		1	1	1	1	0	0	0	—	—	—	0
ASD		6	6	1	0	1	0	5	—	—	—	0
発達障害の重複		3	3	2	0	1	1	1	—	—	—	0
精神障害		2	2	2	0	2	0	0	—	—	—	0
統合失調症等		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
気分障害		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
神経症性障害等		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
摂食障害・睡眠障害等		0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
他の精神障害		2	2	2	0	2	0	0	—	—	—	0
その他の障害		2	2	1	0	1	0	1	—	—	—	0

(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)

<概要>

○令和2年度入学者選抜において実施した配慮の内容について見ると、多い順に「別室を設定」264校、「補聴器の持参使用」195校、「トイレに近接する試験室に指定」178校。

表66 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別]

	実施校数 (校)	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他
実施校数	456	19	122	85	3	12	41	166	4	90	68	195	155	47	26	26	172	14	178	264	77	82	140	331
視覚障害	118	19	68	48	3	7	9	61	3	13	59	0	0	0	4	0	4	4	5	59	3	13	13	62
盲	26	18	1	0	2	0	0	20	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	3	20	2	8	5	16
弱視	101	1	68	48	1	7	9	44	3	10	59	0	0	0	3	0	4	4	3	43	1	5	8	48
聴覚・言語障害	245	0	1	1	0	1	0	10	0	1	0	184	1	0	5	26	145	1	4	34	2	1	6	187
聾	52	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	35	0	0	2	15	37	0	0	7	0	1	0	30
難聴	222	0	1	1	0	1	0	7	0	1	0	174	1	0	3	13	128	1	4	30	2	0	6	174
言語障害のみ	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
肢体不自由	175	0	10	11	0	3	15	53	0	56	1	0	129	37	10	0	3	0	77	75	55	44	87	95
上肢機能障害	25	0	0	0	0	1	3	12	0	5	0	0	9	1	3	0	1	0	4	11	2	0	3	14
下肢機能障害	92	0	0	2	0	0	3	4	0	24	0	0	65	25	0	0	1	0	39	34	25	9	45	49
上下肢機能障害	90	0	9	7	0	3	10	38	0	33	1	0	66	9	7	0	0	0	43	37	31	33	49	44
他の機能障害	25	0	1	2	0	0	1	6	0	5	0	0	13	6	1	0	1	0	9	8	6	5	11	13
病弱・虚弱	184	0	10	8	0	1	11	24	1	15	8	4	34	10	2	0	6	3	75	110	27	25	55	135
内部障害等	161	0	10	7	0	1	11	21	1	14	8	4	32	7	2	0	6	2	68	90	21	22	49	120
他の慢性疾患	66	0	1	1	0	0	0	5	0	2	0	0	3	3	1	0	0	1	12	38	7	3	9	43
重複	31	0	6	5	0	0	1	11	0	6	4	6	14	0	1	1	2	2	12	17	10	7	11	22
発達障害	165	0	49	22	0	0	21	71	0	11	2	3	2	0	7	0	51	1	14	118	2	3	6	108
SLD	31	0	15	4	0	0	3	17	0	1	0	1	0	0	2	0	4	0	1	17	0	0	0	14
ADHD	52	0	12	3	0	0	8	18	0	2	2	1	0	0	0	0	10	0	3	38	0	0	0	23
ASD	102	0	9	4	0	0	6	32	0	4	0	0	2	0	3	0	23	1	8	75	2	2	6	61
発達障害の重複	64	0	18	13	0	0	11	26	0	4	0	1	0	0	2	0	22	0	6	45	0	1	0	36
精神障害	215	0	3	3	0	0	1	12	0	2	0	2	2	1	2	0	10	3	54	135	3	2	17	163
統合失調症等	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	12	0	1	2	6
気分障害	15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	0	0	1	7
神経症性障害等	150	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	2	2	1	1	0	1	2	27	95	1	0	10	110
摂食障害・睡眠障害等	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	5
他の精神障害	132	0	1	2	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	1	0	6	1	33	62	2	1	5	98
その他の障害	165	0	6	8	0	1	7	9	0	10	4	6	9	1	1	0	7	2	71	62	6	6	14	142

※ 複数回答あり



## 10. 障害学生の卒業後の進路

### 進路状況(学校種別・障害種別)

<概要>

○通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(令和元年5月1日現在)7,357人で、令和元年度の卒業生は5,454人。

○卒業生の進路状況は、「進学者」が534人で「就職者」が3,247人。また、「進学者」のうち就職している者3人を加えた全就職者数は3,250人。

※最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	元最高年次障害学生数(令和元年5月1日現在)	で数令(和元年2月31日)	令和元年度に卒業した障害学生の進路状況(令和2年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	臨研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	入所者	社会福祉施設・医療機関	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	7,357	5,454	534	408	92	3	26	5	3	3,247	17	96	115	217	765	435
視覚障害	119	104	13	11	2	0	0	0	0	66	0	5	0	5	14	1
盲	26	25	6	6	0	0	0	0	0	10	0	2	0	1	6	0
弱視	93	79	7	5	2	0	0	0	0	56	0	3	0	4	8	1
聴覚・言語障害	386	334	36	31	4	0	1	0	0	246	1	1	2	11	26	10
聾	138	114	9	8	1	0	0	0	0	90	0	0	2	1	9	2
難聴	239	214	25	21	3	0	1	0	0	152	1	1	0	10	17	8
言語障害のみ	9	6	2	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	417	369	38	36	2	0	0	0	0	221	2	4	10	19	51	23
上肢機能障害	59	50	3	3	0	0	0	0	0	33	0	2	0	3	5	4
下肢機能障害	146	133	14	12	2	0	0	0	0	88	1	0	5	1	16	8
上下肢機能障害	161	141	15	15	0	0	0	0	0	82	1	2	4	10	20	6
他の機能障害	51	45	6	6	0	0	0	0	0	18	0	0	1	5	10	5
病弱・虚弱	1,907	1,616	125	88	26	1	9	1	2	1,150	5	20	19	54	144	95
内部障害等	1,202	1,010	85	61	17	1	6	0	2	712	4	9	15	37	83	61
他の慢性疾患	705	606	40	27	9	0	3	1	0	438	1	11	4	17	61	34
重複	57	44	1	1	0	0	0	0	0	24	0	1	1	2	8	7
発達障害	1,620	1,088	123	91	23	2	6	1	0	518	3	31	52	44	223	86
SLD	49	38	2	1	1	0	0	0	0	21	0	0	2	2	7	3
ADHD	496	317	32	23	6	0	3	0	0	172	0	7	7	10	54	30
ASD	863	602	76	55	16	1	3	1	0	266	1	21	34	29	129	44
発達障害の重複	212	131	13	12	0	1	0	0	0	59	2	3	9	3	33	9
精神障害	2,441	1,565	152	117	26	0	6	3	1	819	6	30	22	75	262	187
統合失調症等	196	117	7	6	0	0	1	0	0	45	0	3	3	7	33	17
気分障害	733	419	29	24	4	0	1	0	0	223	4	6	2	17	80	52
神経症性障害等	822	554	70	58	11	0	0	1	1	303	1	12	5	22	77	60
摂食障害・睡眠障害等	176	134	14	7	5	0	2	0	0	83	1	1	1	12	8	14
他の精神障害	514	341	32	22	6	0	2	2	0	165	0	8	11	17	64	44
その他の障害	410	334	46	33	9	0	4	0	0	203	0	4	9	7	37	26

表68 進路状況 [学校種別・障害種別] (大学)

	令和元年度に卒業した障害学生の進路状況(令和2年5月1日まで)															
	元最高 年5月 1日現 在) (人)	で数 (令 和2 年3 月3 1日 ま ま	令 和元 年度 卒業 の障 害学 生	進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 (左 記を 除く)	臨 床 研 修 医 (予 定者 を含 む)	専 修 学 校・ 外国 の学 校・ 教育 訓練 機関 等	社 会 福 祉 施 設・ 医療 機関 入 所 者	一 時 的 な 職 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者
計	6,532	4,705	420	403	12	0	0	5	3	2,761	16	81	102	174	701	422
視覚障害	108	96	11	11	0	0	0	0	0	62	0	5	0	5	12	1
盲	26	25	6	6	0	0	0	0	0	10	0	2	0	1	6	0
弱視	82	71	5	5	0	0	0	0	0	52	0	3	0	4	6	1
聴覚・言語障害	358	307	30	29	1	0	0	0	0	227	1	0	2	10	26	10
聾	136	112	9	8	1	0	0	0	0	88	0	0	2	1	9	2
難聴	213	189	19	19	0	0	0	0	0	135	1	0	0	9	17	8
言語障害のみ	9	6	2	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	388	342	36	36	0	0	0	0	0	205	2	4	9	16	46	23
上肢機能障害	58	49	3	3	0	0	0	0	0	32	0	2	0	3	5	4
下肢機能障害	133	120	12	12	0	0	0	0	0	80	1	0	5	0	14	8
上下肢機能障害	149	130	15	15	0	0	0	0	0	76	1	2	3	8	18	6
他の機能障害	48	43	6	6	0	0	0	0	0	17	0	0	1	5	9	5
病弱・虚弱	1,594	1,326	89	87	1	0	0	1	2	937	4	17	16	37	129	93
内部障害等	1,026	849	62	61	1	0	0	0	2	600	3	7	12	25	76	60
他の慢性疾患	568	477	27	26	0	0	0	1	0	337	1	10	4	12	53	33
重複	56	43	1	1	0	0	0	0	0	24	0	1	1	2	7	7
発達障害	1,411	905	93	90	2	0	0	1	0	408	3	27	45	40	202	79
SLD	41	30	1	1	0	0	0	0	0	18	0	0	1	1	5	3
ADHD	430	266	24	23	1	0	0	0	0	141	0	5	5	10	50	26
ASD	754	503	57	55	1	0	0	1	0	206	1	19	32	27	118	41
発達障害の重複	186	106	11	11	0	0	0	0	0	43	2	3	7	2	29	9
精神障害	2,270	1,407	127	116	8	0	0	3	1	730	6	25	20	60	244	183
統合失調症等	183	106	6	6	0	0	0	0	0	40	0	1	3	6	31	17
気分障害	705	392	25	24	1	0	0	0	0	207	4	6	2	16	75	51
神経症性障害等	771	508	62	57	4	0	0	1	1	279	1	11	5	17	71	58
摂食障害・睡眠障害等	144	103	8	7	1	0	0	0	0	63	1	1	1	8	7	14
他の精神障害	467	298	26	22	2	0	0	2	0	141	0	6	9	13	60	43
その他の障害	347	279	33	33	0	0	0	0	0	168	0	2	9	4	35	26

表69 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	元最高年次障害学生数 (令和2年5月1日現在)	で数(令和2年3月31日まで)	令和元年度に卒業した障害学生の進路状況(令和2年5月1日まで)										一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者		
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等				入所者	
計	595	550	55	0	49	2	4	0	0	0	361	1	12	12	40	57	12
視覚障害	5	5	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	5	5	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
聴覚・言語障害	17	17	1	0	1	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0
聾	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
難聴	15	15	1	0	1	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	26	24	2	0	2	0	0	0	0	14	0	0	1	3	4	0	0
上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	11	11	2	0	2	0	0	0	0	7	0	0	0	1	1	0	0
上下肢機能障害	11	10	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	2	2	0	0
他の機能障害	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
病弱・虚弱	259	246	17	0	14	1	2	0	0	188	1	3	3	17	15	2	0
内部障害等	145	135	13	0	11	1	1	0	0	96	1	2	3	12	7	1	0
他の慢性疾患	114	111	4	0	3	0	1	0	0	92	0	1	0	5	8	1	0
重複	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
発達障害	100	87	7	0	6	1	0	0	0	41	0	3	6	4	20	6	0
SLD	6	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0
ADHD	33	26	1	0	1	0	0	0	0	15	0	1	2	0	4	3	0
ASD	50	45	5	0	5	0	0	0	0	21	0	2	2	2	10	3	0
発達障害の重複	11	10	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1	1	4	0	0
精神障害	137	128	17	0	16	0	1	0	0	74	0	4	2	13	14	4	0
統合失調症等	9	8	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	2	0	0
気分障害	19	18	2	0	2	0	0	0	0	12	0	0	0	1	2	1	0
神経症性障害等	44	40	7	0	7	0	0	0	0	19	0	1	0	5	6	2	0
摂食障害・睡眠障害等	28	27	4	0	4	0	0	0	0	18	0	0	0	4	1	0	0
他の精神障害	37	35	4	0	3	0	1	0	0	21	0	1	2	3	3	1	0
その他の障害	50	42	9	0	8	0	1	0	0	26	0	2	0	3	2	0	0

表70 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	元最高年次障害学生数(令和5年5月1日現在)	で数(令和2年3月31日まで)	令和元年度に卒業した障害学生の進路状況(令和2年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
計	230	199	59	5	31	1	22	0	0	125	0	3	1	3	7	1
視覚障害	6	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	6	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
聴覚・言語障害	11	10	5	2	2	0	1	0	0	3	0	1	0	1	0	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	11	10	5	2	2	0	1	0	0	3	0	1	0	1	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
上下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	54	44	19	1	11	0	7	0	0	25	0	0	0	0	0	0
内部障害等	31	26	10	0	5	0	5	0	0	16	0	0	0	0	0	0
他の慢性疾患	23	18	9	1	6	0	2	0	0	9	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	109	96	23	1	15	1	6	0	0	69	0	1	1	0	1	1
SLD	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	33	25	7	0	4	0	3	0	0	16	0	1	0	0	0	1
ASD	59	54	14	0	10	1	3	0	0	39	0	0	0	0	1	0
発達障害の重複	15	15	1	1	0	0	0	0	0	13	0	0	1	0	0	0
精神障害	34	30	8	1	2	0	5	0	0	15	0	1	0	2	4	0
統合失調症等	4	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
気分障害	9	9	2	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	3	0
神経症性障害等	7	6	1	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
摂食障害・睡眠障害等	4	4	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
他の精神障害	10	8	2	0	1	0	1	0	0	3	0	1	0	1	1	0
その他の障害	13	13	4	0	1	0	3	0	0	9	0	0	0	0	0	0

表71 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

	最高年次 学生数 (人)	卒業 学生数	就職 希望者数	就職者数	卒業率 (%)	就職希望 率(%)	就職率 (%)
計	7,357	5,454	3,888	3,247	74.1	71.3	83.5
視覚障害	119	104	77	66	87.4	74.0	85.7
盲	26	25	13	10	96.2	52.0	76.9
弱視	93	79	64	56	84.9	81.0	87.5
聴覚・言語障害	386	334	268	246	86.5	80.2	91.8
聾	138	114	97	90	82.6	85.1	92.8
難聴	239	214	166	152	89.5	77.6	91.6
言語障害のみ	9	6	5	4	66.7	83.3	80.0
肢体不自由	417	369	276	221	88.5	74.8	80.1
上肢機能障害	59	50	41	33	84.7	82.0	80.5
下肢機能障害	146	133	103	88	91.1	77.4	85.4
上下肢機能障害	161	141	102	82	87.6	72.3	80.4
他の機能障害	51	45	30	18	88.2	66.7	60.0
病弱・虚弱	1,907	1,616	1,269	1,150	84.7	78.5	90.6
内部障害等	1,202	1,010	787	712	84.0	77.9	90.5
他の慢性疾患	705	606	482	438	86.0	79.5	90.9
重複	57	44	36	24	77.2	81.8	66.7
発達障害	1,620	1,088	705	518	67.2	64.8	73.5
SLD	49	38	24	21	77.6	63.2	87.5
ADHD	496	317	211	172	63.9	66.6	81.5
ASD	863	602	382	266	69.8	63.5	69.6
発達障害の重複	212	131	88	59	61.8	67.2	67.0
精神障害	2,441	1,565	1,033	819	64.1	66.0	79.3
統合失調症等	196	117	73	45	59.7	62.4	61.6
気分障害	733	419	285	223	57.2	68.0	78.2
神経症性障害等	822	554	355	303	67.4	64.1	85.4
摂食障害・睡眠障害等	176	134	92	83	76.1	68.7	90.2
他の精神障害	514	341	228	165	66.3	66.9	72.4
その他の障害	410	334	224	203	81.5	67.1	90.6

※ 卒業率: 卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

※ 就職希望率: 就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

※ 就職率: 就職者数÷就職希望者数×100(%)

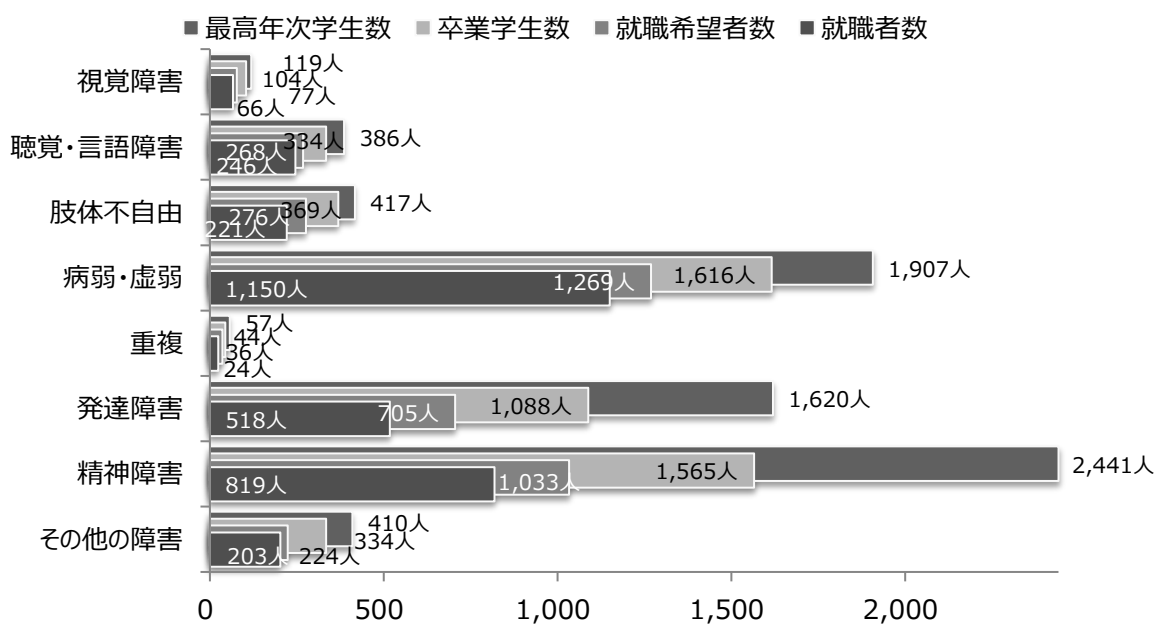


図26 障害学生の卒業及び就職の状況

## 11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）についても調査した。

### (1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)

<概要>

○発達障害(診断書有)学生は7,654人で、このうち支援障害学生は5,331人。

○発達障害(診断書無・配慮有)の支援障害学生は2,495人。発達障害(診断書有)の支援障害学生と合わせると7,826人。

表72 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

	障害学生数				支援障害学生数			
	(人)	大学	短期大学	高等 専門学校	大学	短期大学	高等 専門学校	
計	7,654	6,466	249	939	7,826	6,991	299	536
診断書有（再掲）	7,654	6,466	249	939	5,331	4,769	179	383
SLD	222	194	10	18	146	130	4	12
ADHD	2,116	1,781	61	274	1,385	1,245	41	99
ASD	3,951	3,304	137	510	2,742	2,440	104	198
重複	1,365	1,187	41	137	1,058	954	30	74
診断書無・配慮有	—	—	—	—	2,495	2,222	120	153
SLD	—	—	—	—	88	67	15	6
ADHD	—	—	—	—	597	540	34	23
ASD	—	—	—	—	1,169	1,079	32	58
区分不明	—	—	—	—	641	536	39	66

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

<概要>

○支援発達障害学生数(診断書有+診断書無・配慮有)を学科(専攻)別に見ると、大学では多い順に、「人文科学」1,548人、「社会科学」1,466人。短期大学では多い順に、「教育」74人、「家政」と「芸術」45人。高等専門学校は多い順に、「工業」525人、「商船」7人。

表73 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

	障害学生数				支援障害学生数				支援障害学生数				区分不明			
	診断書有 (再掲) (人)	S L D	A D H D	A S D	発達障害の 重複	① + ②	① 診断書有 (再掲)	S L D	A D H D	A S D	発達障害の 重複	② 診断書無・ 配慮有		S L D	A D H D	A S D
計	7,654	222	2,116	3,951	1,365	7,826	5,331	146	1,385	2,742	1,058	2,495	88	597	1,169	641
大学	6,466	194	1,781	3,304	1,187	6,991	4,769	130	1,245	2,440	954	2,222	67	540	1,079	536
人文科学	1,372	33	387	691	261	1,548	1,065	19	288	556	202	483	7	105	213	158
社会科学	1,396	57	382	717	240	1,466	1,026	38	254	528	206	440	18	93	210	119
理学	424	4	97	228	95	501	342	4	76	179	83	159	5	35	96	23
工学	1,398	25	350	760	263	1,460	1,015	16	249	543	207	445	12	116	253	64
農学	328	11	79	167	71	374	254	6	53	131	64	120	3	33	60	24
保健(医・歯学)	77	0	33	30	14	77	39	0	14	20	5	38	0	7	20	11
保健(医・歯学を除く)	236	8	75	120	33	261	160	4	45	85	26	101	3	17	56	25
商船	7	0	2	4	1	6	6	0	2	4	0	0	0	0	0	0
家政	77	4	32	34	7	97	55	3	27	20	5	42	2	15	9	16
教育	249	10	84	115	40	276	177	8	58	80	31	99	7	33	40	19
芸術	406	20	126	201	59	388	259	15	86	117	41	129	6	41	51	31
その他	496	22	134	237	103	537	371	17	93	177	84	166	4	45	71	46
短期大学	249	10	61	137	41	299	179	4	41	104	30	120	15	34	32	39
人文	31	0	5	21	5	38	24	0	3	18	3	14	0	4	4	6
社会	33	0	6	22	5	36	22	0	4	16	2	14	3	3	4	4
教養	3	0	0	2	1	3	2	0	0	2	0	1	0	0	0	1
工業	21	0	7	8	6	21	19	0	6	7	6	2	0	1	1	0
農業	2	0	2	0	0	4	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0
保健	10	1	2	7	0	10	7	0	2	5	0	3	0	0	2	1
家政	35	3	8	18	6	45	28	1	6	15	6	17	2	4	5	6
教育	49	4	15	20	10	74	29	1	8	13	7	45	9	12	9	15
芸術	34	1	8	19	6	45	28	1	5	17	5	17	0	5	7	5
その他	31	1	8	20	2	23	18	1	5	11	1	5	1	3	0	1
高等専門学校	939	18	274	510	137	536	383	12	99	198	74	153	6	23	58	66
社会	2	1	0	1	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
工業	923	17	268	505	133	525	375	11	96	197	71	150	6	23	58	63
商船	11	0	6	3	2	7	4	0	3	0	1	3	0	0	0	3
芸術	3	0	0	1	2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0

(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

<概要>

- 「発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は757校で、全学校(1,173校)に占めるその在籍校の割合は64.5%。
- 「支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は669校で、全学校(1,173校)に占めるその在籍校の割合は57.0%。

表74 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数		757	572	130	55
発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数		722	555	113	54
SLD		151	130	8	13
ADHD		509	418	41	50
ASD		599	472	77	50
発達障害の重複		362	293	31	38
支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数		669	513	108	48
支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数		618	484	87	47
SLD		108	96	4	8
ADHD		399	338	29	32
ASD		518	419	58	41
発達障害の重複		298	250	23	25
発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数		373	291	52	30
SLD		62	49	10	3
ADHD		204	172	23	9
ASD		240	206	22	12
区分不明		205	160	25	20
全体の学校数		1,173	801	315	57



(4)発達障害のある学生への支援(支援内容別)

<概要>

○「支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」669校で行なわれている支援内容は次のとおり。

- ・授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」434校、「講義に関する配慮」と「出席に関する配慮」274校、「授業内容の代替、提出期限延長等」の267校。
- ・授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」426校、「自己管理指導」297校、「対人関係配慮」252校。

表75 支援発達障害学生への主な支援内容 [授業支援及び授業以外の支援]

	(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
授業支援		586	454	88	44
配慮依頼文書の配付		434	360	46	28
講義に関する配慮		274	248	17	9
出席に関する配慮		274	242	22	10
授業内容の代替、提出期限延長等		267	229	21	17
学習指導		261	204	34	23
履修支援		218	189	25	4
教室内座席配慮		193	155	21	17
注意事項等文書伝達		189	161	16	12
実技・実習配慮		149	115	25	9
試験時間延長・別室受験		138	115	10	13
授業以外の支援		571	439	84	48
専門家によるカウンセリング		426	339	50	37
自己管理指導		297	246	24	27
対人関係配慮		252	198	24	30
就職支援情報の提供、支援機関の紹介		212	183	19	10
居場所の確保		194	153	21	20
キャリア教育		194	162	23	9
医療機関との連携		192	158	14	20
就職先の開拓、就職活動支援		168	144	14	10
障害学生向け求人情報の提供		153	137	10	6
情報取得支援		141	127	8	6

(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)

<概要>

○令和元年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮については次のとおり。

- ・「診断書有」の受験者は408人で、多い順に学部・学科(通学)の「特別入試以外」の受験者304人、「特別入試」の受験者93人、「特別入試」の中では、多い順に「推薦入試」の受験者53人、「AO入試」の受験者36人。
- ・「診断書無・配慮有」の受験者は11人で、学部・学科(通学)の「特別入試以外」の受験者10人、「特別入試」の「推薦入試」の受験者が1人となっている。

表76 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

	学部・学科(通学)					障害者 特別入試	特別入 試以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試						
診断書有(再掲)	408	397	93	36	53	4	304	2	8	1	0
大学	386	375	83	34	48	1	292	2	8	1	0
SLD	34	33	13	7	6	0	20	1	0	0	0
ADHD	90	88	9	3	6	0	79	0	2	0	0
ASD	171	165	39	17	21	1	126	1	4	1	0
発達障害の重複	91	89	22	7	15	0	67	0	2	0	0
短期大学	8	8	5	1	3	1	3	0	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
ADHD	1	1	1	0	0	1	0	0	—	—	0
ASD	6	6	4	1	3	0	2	0	—	—	0
発達障害の重複	1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0
高等専門学校	14	14	5	1	2	2	9	—	—	—	0
SLD	4	4	1	0	0	1	3	—	—	—	0
ADHD	1	1	1	1	0	0	0	—	—	—	0
ASD	6	6	1	0	1	0	5	—	—	—	0
発達障害の重複	3	3	2	0	1	1	1	—	—	—	0
診断書無・配慮有	11	11	1	0	1	0	10	0	0	0	0
大学	11	11	1	0	1	0	10	0	0	0	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ASD	5	5	1	0	1	0	4	0	0	0	0
区分不明	5	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0

(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

<概要>

○「診断書有」の学生については次のとおり。

- ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書有」の学生は、(令和元年5月1日現在)1,620人。令和元年度卒業生は1,088人。
- ・卒業生の進路状況は、進学が123人、就職が518人。

○「診断書無・配慮有」の学生については次のとおり。

- ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書無・配慮有」の学生は、(令和元年5月1日現在)836人。令和元年度卒業生は615人。
- ・卒業後の進路状況は、進学が49人、就職が344人。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表77 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	元最高年次(令和元年5月1日現在)の障害学生数(人)	令和元年度卒業の障害学生数(令和2年3月31日まで)	令和元年度に卒業した障害学生の進路状況(令和2年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	含む)	臨床研修医(予定者を除く)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	2,456	1,703	172	125	28	3	13	3	0	862	5	47	57	79	322	151
診断書有(再掲)	1,620	1,088	123	91	23	2	6	1	0	518	3	31	52	44	223	86
大学	1,411	905	93	90	2	0	0	1	0	408	3	27	45	40	202	79
SLD	41	30	1	1	0	0	0	0	0	18	0	0	1	1	5	3
ADHD	430	266	24	23	1	0	0	0	0	141	0	5	5	10	50	26
ASD	754	503	57	55	1	0	0	1	0	206	1	19	32	27	118	41
発達障害の重複	186	106	11	11	0	0	0	0	0	43	2	3	7	2	29	9
短期大学	100	87	7	0	6	1	0	0	0	41	0	3	6	4	20	6
SLD	6	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0
ADHD	33	26	1	0	1	0	0	0	0	15	0	1	2	0	4	3
ASD	50	45	5	0	5	0	0	0	0	21	0	2	2	2	10	3
発達障害の重複	11	10	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1	1	4	0
高等専門学校	109	96	23	1	15	1	6	0	0	69	0	1	1	0	1	1
SLD	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	33	25	7	0	4	0	3	0	0	16	0	1	0	0	0	1
ASD	59	54	14	0	10	1	3	0	0	39	0	0	0	0	1	0
発達障害の重複	15	15	1	1	0	0	0	0	0	13	0	0	1	0	0	0
診断書無・配慮有	836	615	49	34	5	1	7	2	0	344	2	16	5	35	99	65
大学	761	548	39	34	1	1	3	0	0	309	2	15	5	28	87	63
SLD	16	13	0	0	0	0	0	0	0	9	0	1	1	1	1	0
ADHD	177	123	11	10	0	0	1	0	0	72	0	2	1	5	22	11
ASD	359	259	19	15	1	1	2	0	0	152	0	4	1	11	38	35
区分不明	209	153	9	9	0	0	0	0	0	76	2	8	2	11	26	17
短期大学	59	53	5	0	3	0	0	2	0	28	0	1	0	6	12	1
SLD	10	10	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	4	0
ADHD	10	9	2	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	0
ASD	16	13	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	1	3	1
区分不明	23	21	3	0	1	0	0	2	0	10	0	1	0	2	5	0
高等専門学校	16	14	5	0	1	0	4	0	0	7	0	0	0	1	0	1
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ASD	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1
区分不明	11	10	5	0	1	0	4	0	0	4	0	0	0	1	0	0



## < IV. 参考資料 >

### 調査の手引

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei\\_shogai\\_syugaku/2020.html](https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2020.html)



令和 2 年度 (2020 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

## 調査の手引



## 目次

I. 調査の概要	2
II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点	5
III. 各シートについて	9
IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定	17
V. 本調査における用語の定義	18
FAQ よくある質問集	25

## I. 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構(以下JASSO)が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行ないます。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

[1] 調査の期日 令和2年5月1日現在

[2] 調査の内容 以下のうち(※)は、入力シート(Ⅱ)の[3]参照)への入力結果が反映されま

す。

1. 学校基本情報(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 学校名と主となる所在地

(2) 学校全体の学生数

(3) 本調査の担当部署(者)

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

2. 支援体制(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等

(2) 障害学生支援に関する委員会等

(3) 紛争解決のための第三者組織

(4) 障害学生支援担当部署(者)

(5) 障害学生の相談受付窓口

(6) 支援の申し出等に関する対応手順

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況

(8) 支援学生(ノートテイク等)

3. 活動や取組(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

4. 受入に関する配慮(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

5. 入学者数等(※)(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害のある入学者数等

(2) 受験上の配慮の内容

6. 令和元年度卒業生(※)(令和元年度の学部(通学課程)最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

(1) 学部(通学課程)最髙年次及び卒業障害学生数

(2) 状況別卒業障害学生数(令和2年5月1日現在)

7. 障害学生数(※)(令和2年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)  
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳(※)

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳(※)

10. その他の障害の内訳(※)

11. 授業支援と授業以外の支援(※)(令和2年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援(※)(診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

支援している学生の数、実施している支援内容及び授業以外の支援を記入してください。

13. 意見・要望(障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

[3] 提出の期限 令和2年12月18日(金)

[4] 調査結果の公表

報告書:令和3年8月(予定)

調査結果はJASSOウェブサイト障害学生支援

([https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/index.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html))で閲覧できます。

[5] 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトにも掲載しています。

JASSOウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査

[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa\\_kenkyu/chosa/2020.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2020.html)



## II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

### [1] 調査票(回答)の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票(回答)ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書(令和2年9月1日付)に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、16ページをご参照ください。

### [2] 調査票(回答)の作成上の留意点

#### ①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、行の高さは編集できます。入力内容が多く、そのままでは表示できない場合は、行の高さを広げてご対応ください。

なお、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーチェック機能に誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票(回答)とともにメールに添付してください。

#### ②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

赤色のセル>入カシート(※)のB列、C列になんらかの記入があると、以下のシートの一部に「入カシートに学生の情報が記載されており、調査票を提出する前に削除してください。」という警告メッセージが赤色のセルで表示されます。回答ご提出前にご確認いただき、入カシートのB列、C列の記入はすべて削除してください。

※本年度より、入力方法に変更があります。詳細は、「[3] 昨年度調査との主な相違点」でご確認ください。

1. 学校基本情報 → いずれかの入カシートのB列、C列

5. 入学者数等 → 障害学生情報入カシートまたは、発達障害(診断書無・配慮有)情報シートのB列、C列

6. 令和元年度卒業生 → 卒業生情報入カシートまたは、発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入カシートのB列、C列

7. 障害学生数 → 障害学生情報入カシートのB列、C列

11. 授業支援と授業以外の支援 → 障害学生情報入カシートのB列、C列

12. 発達障害が疑われる学生への支援 → 発達障害(診断書無・配慮有)情報シートのB列、C列

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学(大学院を含む)と短期大学の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

### [6] 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル(Excel)をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

#### 【回答のファイル名】

機関コード(6桁の半角数字)\_ (アンダーバー) 学校名\_(アンダーバー) 実態調査

(例: 100999\_JASSO大学\_実態調査)

※機関コードとは、JASSO学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シートの(1)に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で6桁の数字が表示されますのでご確認ください。

#### 【メールのタイトル】学校名

【メールの送信先】 kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

### [7] 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話: 03-5520-6176 E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp

＜黄色のセル＞回答が必須である設問では、セルが黄色で表示されています。回答の記入があれば白地に戻ります。また、同じ表の中で不整合が起きると、セルが黄色に表示されます。(例:委員会があると回答しているのに、名称等の記載がない)不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際に、各設問の右側にある【記入上の注意】を参考に、赤色や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

#### ③記入内容の反映

赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっているので、「自動」に変更してください。

#### ④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入(例:国立大学法人〇〇大学)すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

#### ⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっています。

#### 【3】昨年度調査との主な相違点

今年度から、基本的な調査内容は変わりませんが、回答の記入方法が大きく変わりました。例年の調査票のExcelファイルに、以下のシートが追加してあります。

- 診断名検索
- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シート

これらのシートで、貴学の障害学生の情報を、学生別に記入していただくこと、その集計結果が、例年同様の調査票回答欄に表示されるようになっていきます。

#### ※入力シート等のメリット※

- 診断名を充実させた診断名リストで診断名検索を行なうことで、障害区分がわかりやすくなりました。また、それともわからない場合は、診断名の記入のみでも提出できます。
- 学生別に1人の情報を受験から支援内容まで1行に続けて入力できるため、学内各部署の情報集約がしやすく、支援内容と支援障害学生数の不一致等の照合が不要です。

- 学生別の情報のみ入力すれば良く、学校全体の集計作業がなくなりました。
- 令和3年度調査からは、前年度の情報入力シートの情報をコピー&ペーストすることができるようになりました。入学者の追加、卒業生の削除、在籍学生の支援内容の変更等を加筆修正すればよく、回答作業の負担が軽減します。

#### 【回答作成の流れ】

##### 1. 調査票の入手

A: JASSO ウェブサイトからダウンロードする

B: メールで受け取る(ご希望の場合は、下記のアドレスまで、メールでその旨をご連絡ください)。

E-Mail: kaitou@jasso.go.jp

- ① 今年度は調査票移行期間となるため、障害学生数が多く、情報入力シートへの学生別情報の入力に困難な場合は、メールでご希望をいただければ、昨年度までと同様に、シート5～12に直接入力できる調査票を提供いたします。ただし、令和3年度調査からは、情報入力シート様式のみとなりますので、お時間のあるときに、今年度の情報入力シートに、学生別情報を入力しておいていただければ、令和3年度の回答作業の軽減につながります。

- ② 支援体制等に昨年度と特に変更がない場合、ご希望があれば、「2. 支援体制」「4. 受入に関する配慮」シートに昨年度の回答が入力された調査票をお送りします。

※②については、返信までに1～2週間お時間をいただく場合があります。

##### 2. 回答の入力

- 1) 以下のシートには、例年同様、回答を直接入力してください。

- 1. 学校基本情報
- 2. 支援体制
- 3. 活動や取組
- 4. 受入に関する配慮
- 12. 発達障害が疑われる学生への支援の(1)
- 13. 意見、要望

- 2) 障害学生学生の情報は、以下の入力シートに、学生別に入力してください。

- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シート

入力シートの情報が反映されるシート

- 5. 入学者数等

6. 令和元年度卒業生

7. 障害学生数

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援

12. 発達障害が疑われる学生への支援

※入力した情報の反映結果をご確認ください。

### 3. 回答の提出

入力シートで、個別の学生の情報を管理するために、学内情報(学生の氏名、学籍番号等)を入力されている場合は、提出用ファイルでは削除していただく。

【重要なお注意】  
こちらのB列、C列は、入力がある場合半角数字のみを入力してください。学籍番号、氏名等の情報は、学籍番号、氏名等を入力して使用してください。回答提出の際には、この2列の情報は削除してください。

No.	学籍番号	氏名	現況	課程	学科	障害小区分
24	20200001	梅村 花子	現況を選択すると入力不要の欄がグレーになります。			障害小区分
25	20200002	梅村 太郎				障害小区分
26						
27						
28						
29						

### Ⅲ. 各シートについて

#### 1. 学校基本情報

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 学校名と主となる所在地

学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。

主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例:京都市、青森県)

(2) 学校全体の学生数

令和2年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び令和元年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、17ページをご参照ください。

・全学生数

学部………通学課程、通信教育課程/大学院………通学課程、通信教育課程/専攻科

・全入学者数(1年次のみ)

学部………通学課程、通信教育課程/大学院………通学課程、通信教育課程/専攻科

・令和元年度全卒業生数

学部………通学課程

(3) 本調査の担当部署(者)

本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mail アドレス)を記入してください。

※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表して記入してください。

※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただきます。

#### 2. 支援体制

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等

障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。

(2) 障害学生支援に関する専門委員会等

障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。委員

- 会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。
- (3) 紛争解決のための第三者組織  
障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)  
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。  
2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。
- (5) 障害学生の相談受付窓口  
支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順  
支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するかの業務の流れを指します。
- (7) 対応手順の例: 手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等  
障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況  
障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイク等)  
障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

### 3. 活動や取組

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 令和2年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、19ページをご参照ください。
- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組  
② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組  
③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)  
④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援  
⑤ 他大学等との連携  
⑥ 学外機関との連携  
⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

- ⑧ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)  
⑨ 障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)  
⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣  
⑪ 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイク・養成等)  
⑫ 支援マニュアル、パンフレット等の配布  
⑬ オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供  
⑭ 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知  
⑮ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント  
⑯ 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポランテリア論等)

4. 受入に関する配慮  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知  
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。
- (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法  
令和2年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。
- (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮  
令和2年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能な配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

### 診断名検索

このシートは、回答を入力するシートではなく、診断名から障害区分を検索するためのシートです。障害学生に関する基本情報として、各入力シートで学生の障害種(障害大区分、障害小区分)を入力していただく際にご利用ください。

シートには、「診断名検索」と「診断名リスト」があります。

#### 【診断名検索】

左端の赤い枠(診断名)に、診断名を記入してください。この診断名と全文一致する診断名に関する情報が、右側に表示されます。区分が明確なものは「障害大区分」と「障害小区分」が表示され、障害の様態によって区分の分かれるものは「参考情報」欄にその判断基準が表示されます。

診断名検索			
診断名	参考情報	障害大区分	障害小区分
	#N/A	#N/A	#N/A

【診断名リスト】

上記の「診断名検索」の元となるデータです。「診断名検索」では、診断名が全文一致しないと表示されないため、上記で障害区分がわからなかった場合には、こちらで検索してみてください。左端の診断名と記載されているセルでオートフィルターをかけたとき（右上の▼をクリックすると）、検索窓が表示されますので、ここに診断名を記入して「OK」をクリックすると、その文字列を含む診断名が表示されます。こちらは中間一致なので、複数の候補が表示されます。

診断名	障害大区分	障害小区分
11β-水酸化酵素欠損症	精神・虚弱	内部障害等
13トリミ-症候群	精神・虚弱	内部障害等
17α-水酸化酵素欠損症	精神・虚弱	内部障害等
17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症	精神・虚弱	内部障害等
18トリミ-症候群	精神・虚弱	内部障害等
1p36欠失症候群	精神・虚弱	内部障害等
9p11-12欠失症候群(7q11.23)	精神・虚弱	内部障害等

障害学生情報入力シート

このシートで入力していただくのは、以下の2つの情報です。

- 令和2年度入学者選抜において把握した、障害のある受験生について
- 令和2年度に在籍するすべての障害学生について

1人の障害学生の情報は1行に集約してください。1つの行に情報が入力されていれば、障害学生数1としてカウントされます。同じ学生の情報が2行以上にわたって入力されていると、障害学生数もダブルカウントしてしまいますのでご注意ください。

【入力方法】

入力方法には、以下の3つがあります。

- プルダウンリストから選択する
- 該当する欄に半角数字の1を入力する
- 自由記述で入力する

【全ての入力シートに共通する情報】

● 課程

学校種別に、それぞれ次のように分類してください。

大学・大学院……学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、大学院（通学課程）、大学院（通信教育課程）、専攻科

短期大学……学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校……学部（通学課程）、専攻科

● 学科（専攻）

学科（専攻）の分類は学校ごとに違います。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

● 障害種別について

障害種別の定義については、17ページをご参照ください。なお、障害種別の不明なものについては、診断名検索シートを利用して障害区分を確認してください。似たような診断名でも区分の違いものがありますので、記入前に一度、診断名検索をしていただけますよう、お願いいたします。また、複数の診断名があり、その区分が複数の障害種にわたる場合には、以下のようにご判断ください。

- 身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合  
「障害大区分」「障害小区分」には身体障害を、「重複する発達障害」または「重複する精神障害」で、該当する障害小区分を入力してください。
- 発達障害と精神障害が重複している場合  
主たる障害を「障害大区分」「障害小区分」に、副となる障害を「重複する〇〇障害」に入力してください。どちらが主たる障害か明らかでない場合は「障害大区分」で「その他の障害」を選択してください。
- その他の障害とそれ以外の障害が重複している場合  
その他の障害に相当するものが主たる障害である場合を除いて、それ以外の障害に区分してください。
- 病弱・虚弱の内部障害等と他の慢性疾患が重複している場合  
内部障害等に区分してください。
- 精神障害の下位区分が複数重複している場合  
他の精神障害に区分してください。

※上記の検索でもどうしてもわからない場合は、障害区分は空欄のまま、診断名だけを記入して（障害区分の該当セルが黄色で表示されますが、そのまま）提出してください。

- (1) 令和2年度入学者選抜において把握した、障害のある受験生については、**入試形態の定義**については、19ページをご参照ください。受験上の配慮の内容については、該当する配慮内容がない場合は「その他」を選択し、「その他の具体的内容」欄も記入してください。内容が複数ある場合も同じ欄に併記してください。
- 入力結果は、「5.入学者数等」シートに反映します。

列	項目	入力方法
B	学内情報用1	③
C	学内情報用2	③
D	現況	①
E	課程	①
F	学科(専攻)	①
G	障害大区分	①
H	障害小区分	①
I	診断名	③
J	重複する発達障害	①
K	重複する精神障害	①
L	受験前に事前相談があった	②
M	志願した	②
N~Q	受験課程 学部(通学過程)	②
R	受験課程 学部(通信教育課程)~専攻科	①
S~V	合格した受験課程 学部(通学過程)	②
W	合格した受験課程 学部(通信教育課程)~専攻科	①
X~AT	受験上の配慮内容	②
AU	受験上の配慮内容 W その他の具体的内容	③

【入力方法】(再掲)

- 入力方法には、以下の3つがあります。
- ① プルダウンリストから選択する
  - ② 該当する欄に半角数字の1を入力する
  - ③ 自由記述で入力する

- (2) 令和2年度に在籍するすべての障害学生について  
 新入生及び2年以上のすべての障害学生の情報を入力してください。基本的な入力方法は、(1)と同様です。

入力対象は基本的にはすべての欄となりますが、D列の「現況」を入力すると、入力不要の欄はグレーになります。支援内容の定義については、21ページをご参照ください。

入力結果は、「7.障害学生数」「8.病弱・虚弱(他の慢性疾患の内訳)」「9.精神障害(他の精神障害)の内訳」「10.その他の障害の内訳」「11.授業支援と授業以外の支援」に反映します。

●新入生について

入試段階で把握した障害のある入学者については、すでに(1)で入力があるため、入学後の支援についても、同じ学生の行に追加で入力してください。

入学してから相談があった、配慮申請があった等、入学後に把握した学生については、新たな行に、その学生の情報を入力してください。

列	項目	入力方法
AV	休学中	②
AW	最低在学年限超過	②
AX	支援の申し出があった	②
AY~BZ	授業支援	②
CA	授業支援 その他の具体的内容	③
CB~CT	授業以外の支援	②
CU	授業以外の支援 その他の具体的内容	③

【入力方法】(再掲)

- 入力方法には、以下の3つがあります。
- ① プルダウンリストから選択する
  - ② 該当する欄に半角数字の1を入力する
  - ③ 自由記述で入力する

#### 卒業生情報入力シート

このシートでは、昨年度調査時(令和元年5月1日現在)に、大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の最高年次に在籍していた障害学生について入力してください。

令和2年3月31日までに卒業した学生については、就職を希望していたかどうか、及び卒業後の進路状況(令和2年5月1日現在)についても入力してください。最高年次及び進路の定義については、20ページをご参照ください。

入力方法は、障害学生情報入力シートと同様です。入力結果は、「6. 令和元年度卒業生」に反映します。

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路については、**発達障害(診断書無・配慮有)**卒業生情報入力シートで回答してください。

#### 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート

このシートでは、発達障害が疑われ、学校がなんらかの支援を行なっている学生について入力してください。入力方法は、障害学生情報入力シートと同様です。入力結果は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に反映します。

#### 12. 発達障害が疑われる学生への支援

(発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

以下の(1)のみ、直接入力でご回答ください。

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

#### 13. 意見・要望

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

#### IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定

##### 調査票記入後の確認事項

##### 1. 一般的な確認事項

- (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先(電話・FAX番号)、担当部課室名、担当者の役職・氏名(フリガナ)・E-Mail アドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

##### 2. 項目別の確認事項

各シートに、赤色や黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、入力シートのB列、C列に学生の情報が残っていないか、ご確認ください。

##### 読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成してください。元のファイルにいきなりパスワードを設定しようと、パスワードを紛失した場合に、ファイルが開けなくなります。コピーしたファイルに、ファイル名(3ページ[6]参照)をつけます。パスワードの設定方法は、以下のとおりです。

##### ■Excel2010・2013・2016

- ① [ファイル]タブをクリックします。
- ② [情報]をクリックします。
- ③ [ブックの保護]をクリックします。
- ④ [パスワードを使用して暗号化]をクリックし、パスワードを設定してください。





該当する疾患)  
 摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等 (ICD-10 F50-F59)に該当する疾患)

※ナルコレプシー、上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者  
 ※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

【発達障害 (診断書無・配慮有)】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援 (教育上の配慮等) を行っている者  
 ※何らかの支援 (教育上の配慮等) とは、学内の組織、部署等の業務として行っているもので、一部の教職員が個人的に行っているものは含まない。

SLD……限局性学習症/限局性学習障害 (IBLD:学習障害)  
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害 (旧注意欠陥/多動性障害)  
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 (旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)  
 区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。令和2年5月1日時点での最新版がICD-11となります。

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義 (資格取得等に要するものを除く)、単位付与の有無は問わない。  
 【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。  
 【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮 (別室受験、時間延長等)  
 ※急性性の疾病 (インフルエンザ等) やけが (骨折、捻挫等) 等、一過性のもの、その後には回復

の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。  
 【特別入試】以下の3つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準 (アドミッション・ポリシー) による入試  
 推薦入試……出身学校長の推薦に基づき、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試 (入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む)  
 【特別入試以外入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最高年次】  
 大学……4年次または6年次 (4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)  
 短期大学……2年次または3年次 (2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)

高等専門学校……5年次  
 【就職希望者】令和2年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者  
 【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ.就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ.一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者 (継続的に本業として家業に従事する場合) も、「イ.就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア〜カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中ですでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ.就職者」の欄に計上してください。「ア.進学者」のうち職に就いている者については、「イ.就職者」に含めず、「②就職数」の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者または5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含みます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア.進学者」以外で、学校等に入学 (在籍) している者 専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、または医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ.就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア〜カ以外】進学者でも就職でもないことが明らかかな者 家事手伝いなどがここに含まれます。学校

て具体的な状況を把握していない者であつても、進歩でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、令和2年5月1日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳(すみやく)……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる(文字を音声に訳す)こと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者や支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳(触手話を含む)】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含みます。

【ノートメイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【パソコンメイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。

【チューターまたはティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等にも実施します。

【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。

【パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。

【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。

【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業(体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等)において、障害の状況に応じて配慮すること。

【教室内座席配慮】教室内の座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。

【FM補聴器/マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。

【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備またはそれに関連する配慮を行なうこと。

【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。

【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。

【授業内容の代替・提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。

【履修支援】履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。

【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。

【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。

【通学支援】スクールの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。

【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できよう支援すること。

【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。

【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。

【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。

【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。

【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。

【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。

【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。

【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。

【介助者の人権、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。

【障害学生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。

【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。

【インターンシップ先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。

【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリーシート作成や面接を指導すること。

## FAQ よくある質問集

### ○ 全般的な質問

**Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。

**A** 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「障害学生情報入力シート」の受験生に関する情報、「13. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最高年次に障害学生が在籍していた場合は卒業生情報入力シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は卒業生情報入力シートに、診断書無・配慮有)情報入力シート、発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シートにもご回答ください。

**Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。

**A** 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいない場合はその旨ご連絡ください。

**Q** キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。

**A** お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。

**Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。

**A** 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。

**Q** 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。

**A** 令和2年5月1日時点の数値を記入してください。

**Q** 研修生は対象となりますか？

**A** 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。

**Q** 2年生から3年生に連続する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。

**A** 最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

Q 令和元年度に入学し、留年したため現在1年生の場合、現況の欄は、入学者(1年生)と、在籍者(2年生以上)のどちらを選択すればいいですか。  
 A 在籍者(2年生以上)を選択してください。

Q 令和2年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。  
 A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○ 調査票の取得と回答方法について

Q 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。  
 A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課(E-Mail:kaifou@jasso.go.jp)までご連絡ください。

Q メールで回答を送りましたが、間違いないかどうかが不安です。  
 A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。

Q 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。  
 A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に(再提出)と追記したファイルをメールに添付し、「学校名(再提出)」というメールタイトルで再送付してください。

Q 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。  
 A 本調査票は集計上の都合によりセルに保護をかけていますが、行の高さは編集できます。該当セルのある行を選択し、全文が表示されるまで高さを広げてください。

○ 障害についての質問

Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。  
 A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。

Q 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。  
 A 本調査の回答のために学生に確認する必要がある。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後のFAQもご参照ください。

Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。  
 A 17ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。

Q 発達障害(診断書有)で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。  
 A 発達障害の中に「発達障害の重複」という小区分があります。この区分で回答してください。

Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気がついていません。この場合、発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シートに計上しますか。  
 A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。

Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害種別はどのように計上しますか。  
 A 障害学生情報入力シートで、身体障害をG列、H列に、発達障害をJ列に計上してください。

Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していなかったのですが、この学生は障害学生数に含めますか?  
 A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。

Q 昨年度から「性別違和」が調査対象外となりましたが、これは、性別違和の学生への支援は、障害学生支援関連部署の担当ではなくなるといいますか?  
 A 性別違和は障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えられることを受けて、本調査の対象外としました。性別違和の学生への支援担当部署について等、それぞれの大学等での取り扱いに影響を及ぼすものではありません。

○ 活動や取組、支援について

Q 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑥の「講義」、⑩の「研修」のどちらに当てはまりますか?  
 A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑥の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑩の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑤の「講座・講演等イベント」となります。

Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援内容のところに計上しますか。  
 A 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援内容のところに計上しますか。

**A** 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には計上してください。学校が関与していない場合は、その支援内容は計上しません。

**Q** 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

**A** 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、計上しません。

**Q** 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。

**A** 支援のための入室許可は、学校の支援として「その他の授業支援」として計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。

**Q** パソコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生はどこに計上したらいいですか。

**A** 「学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。

**Q** ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。

**A** 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。

**Q** 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。

**A** 「その他」に計上し、どういう支援学生なのかを記入する欄に、その旨(〇〇の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C. その他」を選択し「C. その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。

**Q** 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。

**A** 「2. 支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設問がありますので、そちらに記入してください。授業支援と授業以外の支援には計上しません。



## 調査票

### (大学・大学院用)

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

#### 1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

#### 2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、  
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei\\_shogai\\_syugaku/2020.html](https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2020.html)





1. 学校基本情報

**令和2年度(2020年度)**  
**大学、短期大学及び高等専門学校における**  
**障害のある学生の修学支援に関する実態調査**  
**(大学・大学院用) 直接入力版**

機関コード表示欄

1. 学校基本情報

(1) 学校名と主となる所在地

学校名	主となる所在地の都道府県名	No.

(2) 学校全体の学生数 ※課程のないところ、学生数のないところには0を入力してください。

課程	令和2年度 全学生数	令和2年度 全入学者数	令和元年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

全入学者数または全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

年より募集停止しているため、入学者はいない。  
 年開学のため、卒業者はまだいない。  
 その他

(3) 本調査の担当部署(者)

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
連絡先	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
連絡先	E-Mail

次に「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応専任等  
 障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等（例：入学選抜、修学支援に関わる委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する欄に「1」を記入してください。なお、学生全数に關する規程等から、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記③に該当しません。

①対応要領または基本方針、規程等がある。

①  をホームページに掲載している。 URL:

②  令和2年度中に確定予定である。

③  対応要領または基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等  
 障害学生支援について協議・検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

①  専門委員会がある（障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等）。

委員会名

代表者（委員長等）の役職等

（副学長、学部長等）

②  専門委員会はないが、他の委員会でも対応している（学生委員会等）。

委員会名

代表者（委員長等）の役職等

（副学長、学部長等）

③  障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織  
 障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう専門機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

①  第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。

②  他の機関（ラッシュメント委員会等）で対応している。 機関

③  第三者的視点で調整を行なう機関はない。

2. 支援体制

(4) 障害学生支援担当部署（者）

1) 障害学生支援業務を行なう部署・機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）	
	部署・機関名	
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健室等）	
	部署・機関名	
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない	

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
②兼任スタッフ	人数
ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者（手話通訳、ノートテイク等）	
ウ. その他	

2. 支援体制

(5) 障害学生の相談受付窓口  
障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	
	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	
	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	
<input type="checkbox"/>	②支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	
	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	
	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	

(6) 支援の申し出等に関する対応手順  
障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	②対応要領等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③対応手順を規定する文書はない。

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況  
 学生生活において必要な施設、設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入して下さい。

整備状況	整備中または部分的に整備している	年度末に整備する予定がない	未整備
①屋外	ア. 通路の舗装、段差の解消等 イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 ウ. 点字ブロック、標識シール等 エ. 専用駐車場		
②屋内	ア. 自動扉等出入口の整備 イ. エレベーター ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 エ. 車椅子移動等に必要スペース確保 オ. 点字プレート等教室標示 カ. 聴覚障害者用屋内信号装置 キ. 障害者用トイレ ク. 自習室、読書室 ケ. 磁気誘導ループ		
③支援機器	ア. 点字プリンタ イ. 立体工機 ウ. 拡大読書機 エ. 点字携帯端末 オ. 筆談器等 カ. 車椅子、簡易ベッド等		
その他			

※以下に、その他の具体的な内容を記入して下さい。

(8) 支援学生（ノートテイク等）  
 支援学生（障害学生を支援する学生）の人数、所属する組織、処遇について回答して下さい。  
 支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携わる予定の人数を、延べ数ではなく、人数で記入して下さい。  
 障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合は含みません。

1) 支援学生の数 ※正確な人数が不明の場合は概数で回答して下さい。  
 人  
 ①支援学生がいる（支援学生に支援を依頼している）。  
 支援学生が行っている具体的な支援内容 ※複数ある場合は、複数記入して下さい。

2) 支援学生の組織 ※複数回答可  
 ①学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。  
 A. 有償  人  
 B. 無償  人  
 C. その他  人  
 C. その他の具体的な内容

②上記①以外の支援学生がいる。  
 i) 学生が自主的に運営する組織に参加する支援学生がいる。  
 A. 有償  人  
 B. 無償  人  
 C. その他  人  
 C. その他の具体的な内容

ii) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。  
 A. 有償  人  
 B. 無償  人  
 C. その他  人  
 C. その他の具体的な内容

iii) その他 上記 i) ii) に該当しない支援学生がいる  
 ※授業の一環として障害学生支援を行なっている場合等はこちらを選択して下さい。また、その中で単位取得、成績評価等に反映している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入して下さい。  
 以下にどのような支援学生なのかを記入して下さい。（例：ゼミの課題として行なっている等）

A. 有償  人  
 B. 無償  人  
 C. その他  人  
 C. その他の具体的な内容

**3. 活動や取組**

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 教職員向けの研修会等の実施				
	イ. 学生向けの研修会等の実施				
	ウ. パンフレット等の配布				
	エ. その他				
<input type="checkbox"/>	② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 教職員向けの研修会等の実施				
	イ. 学生向けの研修会等の実施				
	ウ. パンフレット等の配布				
	エ. その他				
<input type="checkbox"/>	③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 相談窓口について				
	イ. 支援の申し出方法について				
	ウ. 支援内容決定のプロセスについて				
	エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明				
	オ. 在籍障害学生数				
	カ. 在籍支援障害学生数				
	キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示				
	ク. その他				

<input type="checkbox"/>	④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 学外機関との連携、支援情報の提供				
	イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施				
	ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施				
	エ. インターネット先、就職先の開拓、企業との連携				
<input type="checkbox"/>	⑤ 他大学等との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	連携している学校名と連携内容、または参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。				
	名称/ 内容				
	名称/ 内容				
	名称/ 内容				
	名称/ 内容				
	名称/ 内容				
	名称/ 内容				

3. 活動や取組

⑥ 学外機関との連携  
相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。

名称/ 内容
名称/ 内容
名称/ 内容
名称/ 内容
名称/ 内容
名称/ 内容
名称/ 内容

⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）

名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

3. 活動や取組

⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）

名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数

3. 活動や取組

⑪ 障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）		回数
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

⑫ 支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑬ オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑭ 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

3. 活動や取組

⑯ 障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポテンティア論等）		種別
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

**4. 受入に関する配慮**

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知  
 入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項（募集要項）に、受験上の配慮に関する記載がある。  
 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。   
 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。   
 ウ. その他

②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。  
 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。   
 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。   
 ウ. その他

③入試要項にも、ホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法  
 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。  
 ②全学共通のルールで期間を設けている。  
※ルールは同じだが試験日が違うので実際の期日は違うという場合もこちらを選択してください。  
 ア. 出願受付締切まで  1. 試験前日まで   
 ウ. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。  
 ④特に告知していないが、相談があれば対応する。

**(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮**

令和2年度大学入学選抜において、もし受験者から申請があったら対応が可能な受験上の配慮を、該当する欄に「1」を記入してください。

①配慮の準備がある、または申し出があれば対応可能な配慮がある。

<input type="checkbox"/> A. 点字問題を点字で解答	<input type="checkbox"/> L. 車椅子等の持参使用
<input type="checkbox"/> B. 拡大文字問題の準備	<input type="checkbox"/> M. 松葉杖の持参使用
<input type="checkbox"/> C. 拡大解答用紙の準備	<input type="checkbox"/> N. パソコン等の持参使用
<input type="checkbox"/> D. 音声で出題し音声で解答	<input type="checkbox"/> O. 手話通訳者の付与
<input type="checkbox"/> E. マークシートに替えて文字で解答	<input type="checkbox"/> P. 文書による伝達
<input type="checkbox"/> F. チェック解答	<input type="checkbox"/> Q. 窓側の明るい席の指定
<input type="checkbox"/> G. 試験時間の延長	<input type="checkbox"/> R. トイレに近接する試験室に指定
<input type="checkbox"/> H. 照明器具の準備	<input type="checkbox"/> S. 別室を設定
<input type="checkbox"/> I. 特製机の使用	<input type="checkbox"/> T. 試験室を一階に設定
<input type="checkbox"/> J. 拡大鏡等の持参使用	<input type="checkbox"/> U. 介助者の付与
<input type="checkbox"/> K. 補聴器の持参使用	<input type="checkbox"/> V. 試験場への車での入構許可
<input type="checkbox"/> W. その他	

具体的な内容

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

②申し出がなかったため検討しておらず、回答できない。

次に「5. 入学者数等」シートをご記入ください。

5. 入学者数等

(1) 両者のある入学者数等

用込者数、志願者数、入学者数は実数、受験者数、合格者数は取次数です。

Table with columns for '区分' (Category) and '学年' (Grade) from 特別入試 to 大学教養課程. Rows include '視覚障害' (Visual Impairment), '聴覚・言語障害' (Hearing and Language Impairment), '身体障害' (Physical Impairment), '知的障害' (Intellectual Disability), '発達障害' (Developmental Disability), 'その他の障害' (Other Disabilities), and '区分不明' (Unknown Category).

(2) 受験上の配座の内容

(1) で特記した受験上の配座について、重畳した具体的な内容を下記のA～Vから選択して、該当する欄に半角数字の座記号を記入してください。

A～V以外の配座を其他の記号の場合は、下に示す(W/Eその他)の具体的な内容を記入する欄にご記入ください。※発達障害(診断書・配座書)の(W/E)の他の具体的な内容を記入欄は、欄下部に記入す

Large table with columns A through V and '区分' (Category). Rows include '視覚障害' (Visual Impairment), '聴覚・言語障害' (Hearing and Language Impairment), '身体障害' (Physical Impairment), '知的障害' (Intellectual Disability), '発達障害' (Developmental Disability), 'その他の障害' (Other Disabilities), and '区分不明' (Unknown Category).



階層番号	部所名	WEFの細目の具体的な内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		

※ 入学級層（診断書無し・配慮有）

階層番号

WEFの細目の具体的な内容

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	













(2) 発達障害が疑われ、みんかの支援を行なっている学生数

[1]学部 (漢字課程) 学科 (専攻) ①人文科学へ保健 (医・歯学)			人文科学			工学			農学			保健 (医・歯学)								
学科 (専攻) 別/ 障害種別			S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A			
発達障害 (診断書・医師書) 支援学生数			L	D	S	D	H	D	S	D	H	D	S	D	H	D	S	D	H	D
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[1]学部 (漢字課程) 学科 (専攻) の保健 (医・歯学を除く) ～その他

[1]学部 (漢字課程) 学科 (専攻) の保健 (医・歯学を除く) ～その他			保健 (医・歯学を除く)			農学			工学			保健 (医・歯学)								
学科 (専攻) 別/ 障害種別			S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A						
発達障害 (診断書・医師書) 支援学生数			L	D	S	D	H	D	S	D	H	D	S	D	H	D				
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



**13. 意見、要望**

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

**◆ご協力ありがとうございました◆**

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルをJASSOまでメールにてご送付ください。



令和2年度（2020年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和3年8月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:shienka02@jasso.go.jp